

関大

第574号

平成25年(2013年)3月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

平成25年1月臨時代議員会開く

校友会長に寺内俊太郎氏を再任

代議員会議長に古川氏、副議長に仁井氏

2013スプリングフェスティバル

4月7日(日)に開催

卒業特集

贈る言葉—寺内校友会長・楠見学長・池内理事長

新卒業生8人の学生生活4年間の思い出

定年退職5先生のお別れの言葉

2013年度一般入試・センター利用入試

—志願者数は8.5%増の86,753人



関大 574号 目次

本部活動

- 2 **平成25年1月臨時代議員会開く**
校友会長に寺内俊太郎氏を再任
代議員会議長に古川好男氏、副議長に仁井ひろみ氏
総力結集・熟慮断行・130周年記念事業の成功—会長再任挨拶
- 4 **3月18日に寺内第2期執行部誕生へ**
選考委員会からの答申受け、2月27日に常議員・監事を委嘱
- 5 **2013スプリングフェスティバル 4月7日(日)に開催**
- 7 第29回支部対抗親睦ゴルフ大会
5月14日(火)に天野山CCで開催
- 8 **連携プロデューサーの校友企業訪問**
—ものづくりの現場のいま— (10)

卒業特集

- 10 **5,900余人の「強い関大生」が社会への貢献胸に巣立つ**
新卒業生に贈る言葉—寺内校友会長・楠見学長・池内理事長
卒業に当たって—新卒業生8人の学生生活4年間の思い出
大学を去るに当たって—定年退職5先生のお別れの言葉

大学・学生関係

- 18 **東アジア文化交渉学の教育研究拠点、
文科省の大学院支援補助金に採択**
2013年度一般入試・センター利用入試
—志願者数は8.5%増の86,753人—
道頓堀商店会と連携協力協定を締結
アイスホッケー部がインカレ準優勝、関西連盟所属大学で初の快挙
- 22 **海外支部だより**
- 26 **九州地区支部連合会が「若手・女性リーダー研修会」 会と催し**
- 30 **北から南から** <各地支部だより>
- 43 新刊紹介 校友短信 訃報



約1,000人が出席した臨時代議員会

■ 関西大学校友会ホームページ

<http://www.kandai-koyukai.com/>



世界の一番貧乏な大統領と呼ばれている南米ウルグアイのムヒカ大統領が、「国連持続可能な開発会議（リオ+20）」で演説を行った。「ドイツ人が一世帯で持つ車と同じ数の車をインド人が持つ」と、この惑星はどうなるのでしょうか。私たちはグローバルゼーションをコントロールできていますか？」と

▼彼は個人資産の約9割を寄付し、家とトラクターだけで暮らしている。彼は若い頃から労働運動家として活動し投獄された経験もつ▼「私の同士である労働者たちは8時間労働を成立させるために戦いました。今では6時間労働を獲得した人もいます。しかし、6時間労働になった人たちは別の仕事もしており、結局は以前よりも長時間働いています。バイク、車などのローンを払うために」▼そして「貧乏なひととは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことです。ライフ・スタイルを見直さない限り地球環境は崩壊するでしょう」と……▼私事だが、毎日片道50kmを車で通勤していた。思い切って、昨年の正月より電車通勤にした。渋滞のストレスはなくなり、一日2時間の読書時間ができ、少し豊かな心になった▼南米には「ハチドリ」のひと「ミグ」という先住民の童話があるそうだ——森が燃えていました。森の生きものたちは われ先にと 逃げていきました。でも ハチドリだけは いったりきたりくちばしで水のしずくを一滴ずつ運んで火の上に落としていきます。動物たちがそれを見て「そんなことをして いったい何になるんだ」といつて笑います。ハチドリは こう答えました。「私は 私にできることをしているだけ」。

平成25年1月臨時時代議員会開く 約1000人の新代議員が出席

今後4年間の校友会運営を担う新代議員による臨時時代議員会が、1月26日午後1時から千里山キヤンパス・BIGホール1000で開催され、昨年12月に新たに委嘱された1570人の代議員のうち約1000人が出席、会場は満席となった。

「議長・副議長選任の件」「会長選任の件」「常議員・監事選任の件」の3議案が審議され、代議員会議長には古川好男氏（昭32学法、前副会長）が、副議長には仁井ひろみ氏（昭48学法、前総務部副部長）が選出された。女性の副議長は初めてのこと。続いての会長の選任では、現会長の寺内俊太郎氏（昭46D工金）が満場一致で再任された。

また、常議員・監事の選任は、前例にない選考委員会を設置して選出することになり、選考委員の人数と人選は会長に一任された。一任を受けた寺内会長は、選考日程等を考慮し、その場で21人の選考委員を発表した。

校友会長に寺内俊太郎氏を再任

司会を大東恭治・仁井ひろみ両総務副部長が務め、大谷啓二副会長の開会の辞のあと学歌を斉唱。来賓紹介に続いて寺内会長が、「皆さんと共に4年間の取り組みを省み、新たな執行部の役割等と一緒に考えたい」と、パワーポイントを使って4年間の動向を振り返った。校友会活動の基地として平成21年春に竣工した校友・父母会館の紹介から話を起こした寺内会長は、まず歴代会長の業績を紹介。それを受けて、「強い関西大学を支える元気な校友会」を会是に充足した寺内執行部は、「総力結集・創意工夫・熟慮実行」の基

本方針を定め、母校愛の強い校友を軸とした全校友の更なる校友意識の高揚、母校愛を具現化する活動施策の立案、具体的活動の推進（学生支援部の創設）など、その具現化を推進したことを報告した。

続いて、高槻ミューズキャンパス、堺キャンパスの開設をはじめ4年間の大学のできごと及び校友、先生、学生の活躍を紹介した。また、校友会の海外支部校友との交流、校友会の定例年間事業を振り返り、問題点として関大法科大学院の実情を「ツールを送っているだけではダメな状況に陥っている」と声を

大にして訴えた。最後に今後の校友会活動の指針として、校友理事の母校運営参加意識の向上、校友評議員の意識向上、常議員の校友会本部サポート強化、代議員の地域支部活動意識の向上、校友の積極的な校友会活動への参加、母校創立130周年記念事業の支援を示し、4年間の校友各位の協力に感謝の言葉を述べて総括とした。

代議員の選考経過報告では、田中義昭委員長が、「社会の各界各層で活躍し、母校愛の強い、そして積極的に支部活動等を行っている人の選出を目指し、選考委員会を3回、同小委員会を5回開催して、慎重に審議を重ね、1570人の新しい代議員を選出した。新代議員の皆さんのご協力を得て、創立130周年に向けて校友会活動が、ますます充実発展しますよう祈念します」と報告した。

来賓挨拶で、池内啓三理事長は、「就任時に申し上げた、教職員総力の結集して教育・研究の実実を高める、財政の持続的な安定性を確保する、困難な状況でも何事からも逃げない姿勢で臨む、の3点を念頭に諸問題と取り組んでいる。目の前の課題は、2010プロジェクト事業の完遂で、今年、ミューズキャンパスでは念願の小中

高12年一貫教育が、北陽キャンパスでも中高6年一貫教育が完成する。社会安全学部及び人間健康学部も完成年度を迎える。最後のしっかりとした詰めを行い、数年後には一段と高い評価が得られるようにしたい。

また、3年後に迎える創立130周年については、前理事会から継承した「ソフト中心の味の濃い事業」を行う予定で、これから事業内容、募金体制、組織作り等と取り組んで行く。さらに、長期行動計画の見直しは3月末までに終え、4月頃には今後5年間の計画内容、遂行体制を発表したい。

代議員の皆さんには、学校法人の事業についてもご理解いただいたうえで、更なる発展のため、活発な議論を重ねていただきたい」と要望した。

高槻ミューズキャンパスで開催の「いわて三陸復興フォーラム」に出席のため、懇親会からの参加となる楠見晴重学長に代わり、木谷晋市副学長が楠見学長の挨拶文を代読した。

「大学の使命の1つは社会に有為な人材を送りだすことだが、専門分野の知識を教授することに加え、今やグローバル化に対応できる人材の育成も重要な使命となっている。

3年前の学長就任時に、関西大学をアジア・太平洋地域と日



本の各地域を結ぶハブ大学として機能させたいと申し上げたが、これを更に進めて行く。文部科学省の競争的留学生支援プログラムに全国で7大学が選定されたが、私大では、南千里国際ブラザを中核とした本学のみで、地域からも大いに期待されている。また、海外事務所の開設をはじめ、世界63大学と国際交流協定を締結して、学生も交えた交流を実施しているが、更に拡大していきたい。

一方、関西大学は国内16の自治体・団体等と連携協定を締結し、地域の方々と問題を解決し、地域社会に貢献している。

このハブ大学化の方針のもとで、学生をしっかりとした社会人、国際人を持ってきた人材に育てていきたい」と述べた。

代議員会議長に古川氏、副議長に仁井氏を選出

議事に移り、前期の日根直人・山田拓幸正副議長が仮議長団を務め、第1号議案「議長・副議長選任の件」を審議。前例にない「議長指名による11人の選考委員による選考」が拍手で承認され、議長から11人の選考委員が発表された。選考委員は別室で選考作業を行い、委員を代表して北嶋弘一委員長（総務部長）が、「校友会の最高議

決機関である代議員会の性格に鑑み、慎重審議の結果、議長に古川好男氏、副議長に仁井ひろみ氏を推薦する」と、両氏の歴史もあわせて報告、拍手で承認した。

退任の挨拶をして仮議長団が降壇。選任された新議長団が就任挨拶のあと、第2号議案「会長選任の件」の審議に入った。議長指名による15人の選考委員で選考する方法が議長から提案され、拍手で承認。正副議長選考委員に新たに4人が加わり、別室で選考作業を進めた。

再開された代議員会で、北嶋委員長から「母校が創立130周年に向け、21世紀型総合学園として飛躍を期す重要な時期であり、校友会も積極的にその一翼を担って活動を展開しており、内外に向かって積極的に活動する行動力を有し、且つ41万校友の代表に相応しい人を慎重に選考の結果、現会長の寺内俊太郎氏を満場一致で推薦する」と報告。略歴が紹介され、盛大な拍手で承認された。

再任された寺内会長は、「これからの4年間、母校を支える元気な校友会として、総力を結集し、熟慮断行して、母校創立130周年記念事業を成功に導きたい」と抱負を述べ、校友会活動を更に充実・発展させるため校友の協力をお願いした。

第3号議案「常議員・監事選任の件」は、議長から前例にならぬ「選考委員会を設置して選考し、選考委員の人数とその人選は会長に一任する」案が提案され、拍手で承認された。続いて寺内会長から選考委員21人の氏名が発表された。

懇親会は100周年記念会館で盛大に開催

懇親会は、会場を移し100周年記念会館で開催し、多くの代議員が参加した。

副議長に選任されたばかりの仁井ひろみ前総務副部長が司会



を務め、石井國男副会長が開宴の挨拶。「いわて三陸復興フォーラム」から戻った楠見学長が、フォーラムの概要を説明のあと「東日本大震災に対して今後とも更なる協力をお願いしたい」と述べた。

古川新議長の「尊敬されるような大学にしたい」との発声で乾杯。約1時間に亘り和やかな懇親が繰り広げられ、高知から出席の応援団OB・荻谷正人氏のリードで追遼歌を合唱してお開きとなった。

議長・副議長選考委員（11人）

地域支部代表（4人）東京支部支部長・堺 精一、香川支部支部長・川北文雄、京都支部支部長・牧村史朗、尼崎支部支部長・大角教雄 職域会代表（3人）大阪府庁秀麗会会長・谷 真明、みおつくし葦の葉会会長・村上栄一、関大法曹会幹事長・小松陽一郎 関係校友会・各種団体代表（1人）一高同窓会会長・小坂圭一 執行部（3人）総務部長・北嶋弘一、組織部長・渡邊泰之、広報部長・三木允子。

会長選考委員（15人）

前記の代議員会議長・副議長選考委員11人と次の4氏。地域支部代表（3人）枚方

支部支部長・阿部 進、豊中支部支部長・上村 学、平野支部支部長・田中義信 職域会代表（1人）会計人会会長・燈田 進。

常議員・監事選考委員

臨時代議員会で寺内会長から発表、委嘱された平成25年通常議員・監事選考委員は次の21氏。

本部役員（4人）副会長・田中義昭、総務部長・北嶋弘一、学生支援部長・大東恭治、財務部長・植田芳光。地域支部（8人）東淀川支部副支部長・岡田美由記、平野支部支部長・田中義信、茨木支部支部長・別處了一、堺支部副支部長・古淵孝仁、吹田支部副支部長・谷 康司、神戸支部幹事長・谷口欣久、尼崎支部副支部長・田中正喜、京都支部事務局長・壽見芳正。職域会（4人）大阪府庁秀麗会会長・谷 真明、公認会計士関大会副会長・玉置栄一、会計人会会長・燈田 進、司法書士関大会会長・中村 博。関係校友会（1人）一高同窓会会長・小坂圭一。各種団体（2人）体育OB・OG会理事長・近藤正昭、スポーツマンクラブ会長・中井邦夫。代議員会（2人）議長・古川好男、副議長・仁井ひろみ。

総力結集・熟慮断行・ 130周年記念事業の成功

会長 寺内 俊太郎



先般の臨時代議員会において校友会第10代会長の2期目に再任されました寺内俊太郎です。引き続き拝命したことに、役職の重要性から一層身の引き締まる思いであります。

これからの4年間の職責を校友各位とともに、母校を支える「元氣な校友会」として活動することを誓い、先の4年間の校友会活動を繋ぎ更に発展・充実させるべく、全校友各位のご指導とご協力をお願い申し上げます。

近年の少子化現象に伴う大学全入時代となり、4年制大学の4割以上が定員割れという厳しい現実の中、各大学は激烈な競争に勝ち抜くため懸命の努力をしています。

関西大学は、この厳しい時代をむしろ「21世紀型総合学

園」へと成熟・飛翔していく好機と捉え、創立130周年に向けて、教育・研究・社会貢献・財政基盤の安定をはじめ、あらゆる分野において大学の改革・充実に取り組んでおられます。

このような時期に当たり、大学発展の一翼を担う校友会も、活力のある若い力を糾合して叡知を結集し、出来る限りの努力をしていく決意が必要です。

総力結集 4年前に比べグローバル化が一層進み、社会が変革する中で、企業経営に近いスピーディーに意思決定できるガバナンスが求められています。我々も大学人としての意識を持って母校の動静を注視し、問題を共有し、時代の変化を先取りした校友会のあり方を見据え、変革を厭わず「総力を結集」して行きます。

熟慮断行 世界でそして全国で活躍する41万校友が母校愛の絆を深め、有機的結合を図って校友会活動の基盤強化と充実発展に、全校友とともに「熟慮断行」して行きます。

よう。常議員の校友会・本部のサポートの強化、代議員の地域支部活動意識の向上、および校友の積極的な校友会活動への参加、が特に求められます。

母校創立130周年記念事業の成功。そして、3年後に迫る、母校創立130周年記念事業の成功に向けて、皆様の母校愛を一層強くし、物心両面に亘り支えて行くことはありませんか。

寺内 俊太郎氏

(てらうち しゅんたろう)

昭和41年関西大学工学部金属工学科を卒業、同大学院に進み46年工学研究科博士課程・金属工学専攻の単位を取得。平成24年3月、関西大学工学博士学位を授与される。

昭和43年父の経営する大阪冶金興業(株)に入社。金属熱加工技術を世界に求めて欧米の真空熱処理技術と設備の導入を図り、55年常務取締役、63年専務取締役、平成6年代表取締役就任。

対外的な活動として、日本粉体粉末冶金協会参与、日本熱処理工業会理事等を歴任、多数の学会、社会活動に参画。

大学関係では、平成4年から学校法人関西大学評議員を3期、12年から副議長を1期。16年監事、20年10月理事、24年10月から常任理事。大学とは、昭和45

年に異業種交流および産学共同の研究会に参加して以来の関係で、現在、科学技術振興会の会長を経て名誉会長。

から常議員を3期務め、15年から広報担当副会長、18年から組織担当副会長、21年1月から4年間会長。

代議員会正副議長略歴

代議員会議長 新

古川 好男氏

(ふるかわ よしお)



昭和32年法学部卒業。学生時代の昭和31年にサッカー日本代表に選出され、正ゴールキーパーとして同年のメルボルンオリンピック、33年アジア競技大会、35年ローマオリンピック予選に出場する。

代議員会副議長 新

仁井ひろみ氏 (にい ひろみ)



など国際アマッチ17試合に出場した。

昭和32年に住友ゴム工業(株)に入社し、同社理事、(株)ダンロップスポーツ東京代表取締役等を経て、現在は、(有)アイ・エフエインタープライズ代表取締役社長

校友会関係では、平成9年3月から2期常議員、14年2月から4期副会長を務めた。

大学関係では、平成12年から3期評議員、その間給与厚生委員長、企画委員長を歴任。また関西大学千寿会元会長、サッカー部OB会名誉会長、体育OB・OG会副会長等も歴任した。

政書士事務所所長。

校友会関係では、平成6年から6期連続常議員を務め、総務部副部長等を歴任。平成18年から女子秀麗会会長で、同会の結婚総合相談所などで、女子校友のための様々な活動を指導している。また、早くから支部活動にも参加し、現在、都島支部副支部長。

大学関係では、平成16年から評議員。現在3期目。

昭和48年法学部卒業。仁井行

3月18日に寺内第2期執行部誕生へ

選考委員会からの答申を受け、

2月27日に常議員・監事を委嘱

寺内会長から1月26日付で委嘱を受けた常議員・監事選考委員21人は、2月5日に千里山キャンパス・校友会会議室で第1回委員会を開催し、寺内会長が選考に当たつての会長所見を述べたあと、委員長に田中義昭副会長、副委員長に北嶋弘一総務部長を選出、早速協議に入つた。

まず、選考基本方針を検討。寺内会長の、会長就任に当たり創立130周年記念事業を物心両面にわたり支えて行くためにも、時代の変化を先取りした校友会のあり方を見すえ、変革を厭わず『総力を結集』していく。



全国各地で活躍する41万校友が、母校愛の絆を深め、有機的結合を図って校友会活動の基盤強化と充実発展に、代議員をはじめ校友の皆さんとともに『熟慮断行』して行く旨、ご挨拶申し上げた。校友会並びに大学の発展、充実に積極的に取り組んでいただける有能な人材を、執行部に送り込んでいただきたいとの主旨に沿って選考することを基本方針とした。

併せて、副会長候補を除く

常議員候補者については、年齢66歳未満（答申時）の者から選考することとし、政界関係者は候補者としな。選考に当たつては、卒業期別・学部別・男女別などの構成にも配慮し、校友の活躍している職業、社会的地位、将来が展望できる人、人格・識見を有する人、企画・立案・行動のできる人等を、校友ネットワークの構築・充実も視野に入れて、各界各層から均衡を失しないよう選考する。会務運営上、大学との連携が必要であり、こうした角度から適切な人選を行う、など8項目の選

考基準を決定した。

その後、特に創立130周年記念事業を物心両面にわたり支え、校友会活動の基盤強化と充実発展に寄与する方で、副会長候補者を除く常議員候補者は66歳未満とすることを遵守して、4回の小委員会と2回の選考委員会で精力的に選考作業を進め、2月27日に副会長候補者を含む75人の常議員候補者と3人の監事候補者を、田中委員長から寺内会長に答申した。

75人の常議員候補者の選考結果は、前期再任47人（62・7%）、新任（元を含む）28人（37・3%）となり、うち女性候補者は12人（16・0%）だった。答申を受けた寺内会長は、直ちに候補者全員に委嘱状を発送した。

今後、3月12日には第1回常議員会が開催され、副会長の選出、顧問・参与の委嘱等を決定。3月18日の第2回常議員会では、常議員の6部（総務・事業・広報・組織・学生支援・財務）分属が発表され、各部で正副部長を互選して決定し、寺

内第2期執行部が正式に発足する運びとなる。

常議員委嘱者

（副会長候補者を含む75人）

（50音順・敬称略）

浅田美明（昭59学経済）新
池松知永子（昭62学社会）再
芋縄隆史（昭62学商）再
岩崎圭祐（平6学法）再
植田芳光（昭48学工）再
牛島慶太（昭54学2法）新
江原竜二（昭63学工）新
大西康治（昭61学商）新
大東恭治（昭57学法）再
岡田美由記（昭52学商）再
小川哲男（昭48学2法）新
沖中龍三（昭62学社会）再
籠池靖憲（昭52学商）新
加藤安宏（昭51学法）再
金子正行（平8学法）新
河嶋達（昭56学商）新
北 靖久（昭62学経済）再
北嶋弘一（昭44M工）再
草川大造（昭46学法）再
葛村和正（昭51学工）再
栗尾尚孝（昭51学法）元
高一弘（昭52学2商）新
小坂圭一（昭55学工）再
小早川勝己（平2学2経）新
近藤茂憲（昭50学経済）再
近藤正昭（昭46学法）再
笹倉淳史（昭58D商）新
佐野友章（昭52学法）新
塩田貴美代（昭55学法）再
壽見芳正（平4学工）新
祖父江洋二郎（昭53学法）再
太平信恵（平3学法）新
田中正喜（昭51学工）再
田中義昭（昭43学文）再
田中義信（昭50学法）再
谷 真明（昭53学法）再
谷 康司（昭52学

法）再
谷口欣久（昭61学工）再
玉置栄一（昭53学経済）再
辻井宏之（昭57学法）再
堤勇二（昭54学法）再
燈田進（昭48学法）再
中井邦夫（昭45学2法）再
中井紀子（昭45学文）新
永尾俊一（昭61学法）再
中丁卓也（平7学商）再
中野雅夫（昭61学社会）新
中村 博（昭56学2経）再
中本已知夫（昭52学2法）再
西野京子（昭46学文）再
野村正幸（平8学商）新
長谷川孝夫（昭52学商）再
畑 尚樹（平8学工）再
林紀美代（昭56学商）元
廣内良明（昭59学工）新
藤井喜代子（昭51学経済）再
古淵孝仁（昭55学法）再
古屋敷博文（平11学総合）新
別處一（昭46学社会）再
本間敏司（昭61学工）新
松永明（昭58学2商）再
松野千尋（昭53学文）再
馬淵純一（昭48学2法）再
三木允子（昭42学文）再
三原秀章（昭62学商）再
宮本忠依（昭49学社会）新
宮本忠依（昭61学商）新
村上康司（平6学法）新
森岡修司（昭61学商）新
森本和伸（昭62学社会）再
山上珠実（昭53学2法）新
山本伸次（昭60学商）新
山本淑子（昭53学文）再
渡邊泰之（昭42学法）再
渡邊善孝（昭56学社会）再
監事委嘱者
石井國男（昭45学2経）新
大谷啓二（昭39学2商）新
小笹徳左衛門（昭41学法）新

2013スプリングフェスティバル 4月7日(日) 千里山キャンパスで開催

校友会では、昭和61年から毎年4月の第1日曜日を「校友デー」と定め、校友の母校愛の一層の高揚を願い、母校と校友、また恩師と校友、クラブ現役とOBなどを直接結ぶ行事として、千里山キャンパスで「スプリングフェスティバル」を大学の全面的な協力を得て開催している。

今やオール関大人の心待ちする春のイベントとなり、28回目を迎える今年は4月7日の日曜日に開催する。さあ、今年も桜の母校で「確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！」

開催日時 平成25年4月7日(日) 午前10時～午後3時(時間内に自由に来学ください)

開催場所 関西大学千里山キャンパス(阪急千里線「関大前」駅下車)

(駐車場はありませんので、電車を利用ください)

行事

凧風館2階食堂で「見える学びを街へ」開催

「春の俳句大賞」を募集―俳句コーナー

★歓迎セレモニー(千里山中中央グラウンド) 13時～14時
……校友会長、理事長、学長の校友を歓迎する挨拶に続いて、応援団など現役学生による演舞・演奏が華やかに繰り広げられます。

★落語公演「さくら寄席」(凧風館1階ロビー) 11時～12時)……特設ステージを設け、落語大学の学生による「さくら寄席」を特別公演。落大生たちの明るく楽しい寄席をお楽しみください。

★見える学びを街へ(凧風館2階生協食堂内) 10時～15時)……関西大学では、地域や社会との連携を積極的に進めているが、今回は、化学生命工学部河原秀久准教授が研究を進めている「不凍タンパク質」が実用化された成果を紹介する。会場では、応用されている商品の展示や説明パネルの他、生協の協力で実際に市場に出ている冷凍食品などの試食も先着順でできる。

★野点・俳句(悠久の庭) 10時～12時半、14時～15時)……野点会場(無料)を設営し、

茶道部現役学生がお点前で参加者を歓迎。また、俳句コーナーでは、桜を賞でながら句作ができ、作品はその場で掲示する。作品の中から「春の俳句大賞」を選び、入選された方には後日景品を贈呈します。

★総合図書館……昭和60年に開館。大学図書館としてはトップクラスの設備と機能を誇り、研究者と学生の両者を対象とする蔵書構成とサービス機能を備え、中央図書館としての機能も有している。

1階の展示室では、4月20日から大阪くらしの今昔館との共催で展覧会、なにわユーモア画譜」が開催されるのに先がけて、主な展示品を紹介する



ミニ展示を開催している。「大坂画壇」といわれる江戸時代から明治・大正・昭和初期にかけて大阪で活躍した日本画家の作品のうち、滑稽でユーモアに富んだ作品を中心に、風俗画、文人画、美人画などを展示する。

また、第1会議室では、博物館企画展と連携した「現代日中名家の作品展」を開催している。

見学施設

★博物館(簡文館内)……平成6年に開館。23年に国の登録有形文化財(美術工芸品考古資料の部)に登録された「本山コレクション」を中心に、考古、歴史、民族などに関する資料や美術工芸・自然資料など約1万5000点を所蔵。

重要文化財指定16点を含む約700点を常設展示している。
第2展示室では、書聖・王羲之によって永和9年(西暦353年)に催された蘭亭会を記念し、春季企画展「大正癸丑蘭亭会百周年記念―近代日本における翰墨の盛典―」を開催している。

★年史資料展示室(簡文館内)……126年におよぶ関西大学の歴史に関する資料を展示する常設展示室と企画展示室がある。

企画展示室では、「関西大学の秀麗たち―女子学生ものがたり」を開催する。今年は「関西大学で最初の女子学生といわれる北村兼子さんが、大正12年(1923)に聴講生として入学して90年になり、そこを1つの起点として、女子学生の歴史に焦点をあてた展示を企画している」。

★高松塚古墳壁画再現展示室(簡文館横)……平成20年3月に美術陶板を使って発見当時の写真から高松塚古墳の極彩色の壁画を再現する展示施設として設置された。

★豊臣期大坂図屏風復元陶板(第1学舎1号館内)……堺の宿院から住吉、天王寺、大坂を経て氏平等院までを描いており、豊臣最盛期の大阪城

を髣髴させる、類例の少ない豊臣時代の大坂を描いた貴重な作品。

食事・弁当・飲物

＊生協本部食堂……凜風館2階のダイニングホールディノア（生協本部食堂）では、和定食・洋定食・麺類・丼物をはじめ子供向けメニューも用意しています。また、教室等で総会・懇親会を開催の場合は、弁当（お茶付・1000円）やパーティー用特別料理・飲物の予約もできます。関大生協飲食事業部（電話06-6368-7531）まで直接申し込みを。



＊生協テント……総合図書館前の生協テントでは、弁当・缶ビール・缶ジュースのほか、関大関係書籍や記念品にもなる「校章入り瓦せんべい」やシ

ヤツなど関大オリジナルグッズを販売しています。

お問い合わせ

2013スプリングフェスティバルに関する問い合わせは、関西大学校友会事務局まで。（電話06-6368-0041・46・FAX06-6380-8476）

【訂正】前号（第573号）の記事で、行事として「校友親子の

創立130周年に向け総意の結集を 校友会新年互礼会に260余人集う

平成25年校友会新年互礼会が、1月15日午後6時から大阪新阪急ホテルで開催された。池内啓三理事長、楠見晴重学長をはじめ大学関係者、校友の首長、議員、地域支部や職域会の代表など260余人が集い、創立130周年に向け、母校のますますの充実・発展を祈念し、元氣な校友会として活動の促進を誓った。

大東恭治、仁井ひろみ両総務副部長が司会を務め、開会の言葉を石井國男昭副会長が述べた。応援団第91代団長・村上雄紀君のリードで学歌を斉唱した後、寺内俊太郎校友会長が挨拶。寺内会長は「この4年間、校友会を代表して母校のいろいろ

『進学相談』（新関西大学会館北棟・1階ロビー）10時～15時」と掲載しましたが、本年は進学相談は実施しません。訂正し、お詫びします。

【お詫び】スプリングフェスティバルでは、今年も多くの団体が総会や懇親会、催しを企画しておりますが、紙面の都合により「総会等開催団体一覧」は、掲載しておりません。ご了承ください。

な行事に参加させていただくとともに、校友のエネルギーをもつて母校を支えるために努力をしてきた。一番の印象は東日本



大震災である。校友会として何かできないかと考えた末、われわれが元気になることが復興に繋がると、支部・職域の集まりには極力出席して訴えてきた。また、校友総会、代議員会などでパワーポイントを使い、皆さんと共通の認識を持つて会務の遂行に当たってきたが、それを誇りに思っている。

昨年10月、大学は法人、教学とも新体制が発足した。校友会からも多くの評議員、理事を送り込んでいる。また、12月には1570人の方に新代議員を委嘱した。いよいよ今年は130周年に向けてスタートを切る年である。強い関西大学を支える元氣な校友会として、新たな絆のもと一体となって取り組んでいきたい」と、この1年の決意を述べた。

来賓紹介に続いて、池内理事長は「今年は、法人としての関西大学が命運を賭けた2010プロジェクトが完成年度を迎える。最後のしっかりとした詰めを行っていききたい。長期行動計画の見直し、創立130周年記念事業ほか取り組む課題も山積しているが、新年の抱負として、関西大学及び併設校が、わが国有数の私学としてあらゆる分野において、関西4私大のトップに位置することができるよう、教職員はもとより、41万校友や

思い出がよみがえる

ANSAI
KUグッズ
UNIVERSITY

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生活協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

凜風館3F 関大グッズコーナーにて販売しております



インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

教育後援会等々のご支援も頂戴して、一丸となって前進しましょう」と、力強く語った。

楠見学長は「3年前に学長に就任した時、関西大学をアジア・太平洋地域のハブ大学として機能させたいと申し上げたが、その構想の実現に向けて着々と進めている。関西は昔からアジア

アとの結びつきが強い地位であることから、関西経済連合会、関西経済同友会、関西生産性本部、大阪商工会議所等とも連携して、関西とアジアの活性化に積極的に貢献していく決意を持っている。この方針を校友会の皆さんも共有していただくとお願いしたい」と述べた。

栗原宏武評議員会議長が乾杯の挨拶と発声を行い、懇親会に移った。応援団吹奏楽部の演奏・演奏が会場を盛り上げ、しばし歓談。逍遙歌を合唱したあと、葛村和正教育後援会会長が大阪締めを行い、古川好男副会長の閉会の言葉で盛会裏に閉宴となった。

第29回支部対抗親睦ゴルフ大会 5月14日(火)に天野山CCで開催

支部相互の親睦と校友の親睦を図る催しの一つとして、第29回支部対抗親睦ゴルフ大会を、5月14日(火)に、昨年度に続き天野山カントリークラブ(36ホール)で開催します。新緑さわやかな好季節に、日ごろ鍛えた腕前を存分に発揮していただき、校友会長杯(団体戦)、理事長杯(個人戦)をめざして、楽しくプレーしてください。なお、知り合いの方も誘いのうえ、多くの校友の皆さまの参加をお待ちしています。



日時 5月14日(火)
場所 天野山カントリークラブ(堺市南区別所1549-46 ☎072128419919)
競技方法 18ホールストロークプレー(プレーのコースによりティーの場所が異なる、6インチリプレー可、ローカルルール適用)、ダブルペリア方式を採用(競技委員長・ゴルフ場支配人一任)

表彰 団体戦「上位5位まで入賞(各支部上位4人のネット合計で決定)。個人戦「上位10位まで入賞。10位単位飛賞あり。表彰式 競技終了後、クラブハウスのレストランで成績発表、表彰式、懇親会を行います。ぜひ表彰式までご出席ください。
参加費 6000円(ゴルフ場での支払い各自負担。プレーはキャディ付き税込1万3500円)1ドリンク・昼食付。但し懇親会での酒類は各自負担。全員に参加賞あり。
申込方法 1支部4人以上(4人に満たない場合は個人戦のみ)、先着220人「定員になり次第締切。最終は4月10日(水)。参加申し込みをされた方には、4月下旬頃に実施要項、組み合わせ表等をお送りします。参加ご希望の方は、所属地域支部、氏名、卒業年・学部、住所、電話、生年月日を明記の上、郵送かFAX(06-6380-8476)にて、またはE-mail: honda@imkansai-u.ac.jpへ、お早めにお申し込みください。
個人での参加も歓迎します。
問い合わせ等は、校友会事務局(06-6368-0041、44)まで。

卓上校旗を製作 支部総会等に貸し出し

校友会では、このほど卓上校旗を製作した「写真」



各地域で積極的に他大学校友会との交流を進める支部等から「関西4大学や6大学の交流会などで、関大のテーブルに校旗がないのは寂しい」との要望を受け、他大学との交流会に限らず、近年、大学対抗のゴルフ大会なども増えており、成績発表・懇親会の席や、組織の総会・懇親会ではテーブル花のかわりに置くこともでき、母校意識の高揚に繋がるとの判断から、組織への貸し出し用として製作した卓上ミニポールとセットで貸し出し、一度に数カ所の要望にも対応できるよう数も用意している。
借用希望の場合は、校友会事務局までご連絡ください。
なお、買い上げ希望の場合も校友会事務局まで連絡いただければ、製造業者に仲介する。

血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

糖尿病に燕子掌

「お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値!」と、今回、やっと下げるモノが見つかりました!と、多くの方に喜び戴いている特許新成分です。
▼この漢方・燕子掌の詳細資料・改善データを無料で送ります。
特許番号第2535674号
☎0120(090)358
ヘルスケア研究所

資料無料送付

180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!
関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル ナカノ TEL 06-6702-8624
ホームページでも詳しく紹介しています。
ブライダルナカノ 検索

●関西大学卒業生(商87)中野友美子
経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員

Bridal NAKANO

「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して

連携プロテューサーの校友企業訪問 ―ものづくりの現場のいま―

校友との接点づくり・学生との接点づくり・企業との接点づくり

10

日々の小さな改良の積み重ねが未来をつくる

大阪冶金興業株式会社

大阪冶金興業(株)は、創業以来熱処理加工技術に基づく熱処理事業と第二の柱に成長した金属射出成形(MIM: Metal Injection Molding)技術に基づくMIM事業を推進しています。

熱処理事業は、真空熱処理が中心で発電用ガスタービン、航空エンジン、宇宙機器などの部品を、MIM事業では、小型の複雑な形状の部品をほぼ最終製品の状態で量産が可能です。自動車、パソコン、ロボット、各種センサーなどの部品を製造しています。

業界に先駆けて真空油冷却炉を導入し熱処理業界のパイオニアとして各種金属材料の真空熱処理加工技術確立しました。その後も、次世代を見つめて国内初の真空浸炭炉、国内最大級の高圧冷却真空熱処理炉と最先端の設備を相次いで導入しています。

真空炉は、真空状態で加熱を行うことから金属材料を酸化させず、1200℃という高温で熱処理加工ができます。通常の熱処理加工に比べて、エネルギー削減にもつながります。

熱処理加工は、基本的には加熱時と冷却時における速度、保持温度、保持時間などにより特性が左右されます。さらに、浸炭、窒化および機械加工などが加わることで必要とする特性が得られます。金属材料、特に鉄鋼材料は、ほとんどの場合、熱処理加工を施すことによって部品の必要とする特性を得ることが出来ます。



大阪冶金興業は、顧客に「できない」とは言わないをモットーに、熱処理加工の事業を、真空炉群を形成し推進しています。真空熱処理、一般熱処理、塩浴熱処理、表面硬化処理、ロー付けおよび接合加工、サブ・ゼロ処理などについて他社には

真似のできない熱処理加工技術で産業界の発展に貢献しています。熱処理加工プロセスで不可欠な温度測定に用いるセンサーである熱電対の自社検定システムを独自に開発しています。この検定システムにより、社内で使用するすべての熱電対の検定を行い、熱処理加工の品質保証の体制を構築しています。ハイピッチでイノベーションが進む現在、産業界のあらゆる分野で新しい高度な技術が求められています。窒素ガスやアルゴンガスを使い最適なスピードで、より高精度の冷却が可能な真空炉を開発しています。発電用ガスタービンや航空機などの部品はより高い信頼性が要求されます。部品の強度を高め、寿命を延ばすことは、製品の安全性の向上とトータルコストダウンにつながります。MIM事業は、大阪冶金興業が保有する熱処理加工技術と熱処理炉などの設備を基盤に、産業界の大きなトレンドを見つめてMIM加工技術を開発し確立しています。MIM加工は、粉末射出成形加工の一つで金属射出成形加工と呼ばれる加工方法です。三次元複雑形状の金属部品をプラスチックと同じプロセスで射出

成形機によって量産可能なことが大きな特徴となっています。微細粉末を原料とするため溶解しにくいチタン、タンクステン、ハイス、ダイス鋼などの難加工金属材料に応用が可能です。複雑な形状の金属部品を製造する技術として機械加工、ダイカスト、精密鑄造、粉末冶金に次ぐ金属加工法で、金属材料とプラスチック材料(バインダー)の粉末を混ぜ金型に射出して真空状態で焼結することで製品を生産します。MIM加工技術は、大阪冶金興業が熱処理事業で長年培ってきた真空熱処理技術と融合した独自の量産化技術と生産プロセスを開発し、製造しています。ガスアトマイズ粉末製造装置の導入による新素材の開発、マイクロフォーカスX線CT検査装置、透過型X線装置などで構成した非接触全自動三次元測定システムの検査体制の構築による信頼性向上などでMIM加工は、粉末金属材料の提案、設計から検査まで一貫して行うことができます。機械加工や精密鑄造で生産するとコストが高くなる複雑で精密な形状の少量部品など

所在地…〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光4-4-28
代表者…代表取締役社長 寺内 俊太郎
TEL…06-6328-1345
FAX…06-6328-1380
<http://www.osakayakin.co.jp>

を、低コストで生産することを推進しています。MIM加工技術の新しい展開として、医工連携によりチタン金属多孔体を開発し、人工骨などの生体医療材料への応用を図っています。医療材料分野は、MIM加工部品の新規のマーケットとして注力しています。大阪冶金興業は、熱処理加工とMIM加工の実績と信頼を基に、今、目の前にあるものを日々工夫し改良していくことを積み重ね、さらなるイノベーションに挑んでいます。新素材の開発と、各種金属材料の機能性を付加した製品のニーズの高まりとともに、熱処理加工のハードおよびソフトが多様化しています。顧客のものづくりに寄与する金属を科学し、次世代金属材料の熱処理加工を目指して、社会に貢献できる企業であり続けたい。



「貼る」、「包む」、「魅せる」をまるごとサポート

大阪シーリング印刷株式会社

大阪シーリング印刷(株)は、シール・ラベル、フィルム製品、ビジネスフォームおよびラベリングシステムなど「貼る」、「包む」、「魅せる」の機能にこだわり包装に関するあらゆるニーズに応える製品を製造、供給しています。ラベルの機能性の一例として、非接触でデータの読み出し、書き込みが可能なRF-ID(Radio Frequency Identification)ラベルは、非接触で人や物の情報を識別、管理できる無線通信技術を活用したラベルです。印刷の枠を超えた発想と情熱でシール・ラベルやフィルム製品などに情報発信機能、セキュリティ機能など、豊かで美しい感性で現代の生活者が必要とする様々な機能のイノベーションを創出することを目指しています。

シール・ラベルは、流通業をはじめ社会のあらゆる産業分野で用いられています。大阪シーリング印刷は早くから印刷システムのデジタル化に取り組み、短納期、小ロット、低コストを実現しています。また、ラベル用原紙、粘着材、セパレータ(台紙)不要のラベルなど地球環境に配慮した製品を自社開発しています。フィルム製品は、四角形、円形、変形タイプなど、あらゆる形状の包装に柔軟に対応し、保護、利便性などの機能を徹底して追求することで多様化の時代にふさわしい最適な包装材料を提案しています。ラベリングシステムは、長年の経験とノウハウに基づいて包装材料の選定から生産のラインの設計、システム構築、設備据付、アフターサービスまで多様

な需要に総合力で応えています。

印刷を知り尽くしたエキスパートが、凸版印刷、オフセット印刷、シルクスクリーン印刷、グラビア印刷などすべての版式の印刷機および加工機による最適な印刷技術で最高の印刷品質を具現しています。通常、シール・ラベルを印刷する際に多く用いられるのが凸版輪転シール印刷機です。高い印刷精度が特長のグラビア輪転印刷機は、凸版輪転シール印刷機をはるかに凌駕する大量生産用のフィルム印刷機です。

大阪シーリング印刷は、安全と環境に配慮しながら高品質かつ高効率の生産体制を確立し全国に生産拠点を展開しています。全国の製造、営業部門をオンラインで結ぶことで、「いつでも、どこでも、スピーディ」を実現する有機的な組織の連携ネットワーク(OSP: Osaka Sealing Printing ネットワーク)を構築し、

常に品質の高い製品を日本全国に供給する営業・生産システムを確立しています。

徹底した小ロット対応を原点とすることで規模の拡大を図るという独自のビジネスモデルによって短納期と多品質小ロット、この相反する課題を両立させると同時に、シール・ラベル、フィルム製品などの素材から印刷加工機などの生産設備まで内製化を徹底することで低コストを実現しています。生産設備として、ラベルを自動的に貼るラベル自動貼機、

ラベルに印字して発行するラベル印字発行機、弁当や青果パックなどを包装するクリアラッピング包装機など自社開発製品のラインナップを揃え機器単独でなくシステムで提供しています。小ロット・即納体制を支えるコンピュータネットワークは、受注から納品までのプロセス全体をバーコードシステムでコントロールし、



なるラベル用原紙は一般にタック紙や粘着紙と呼ばれ、ラベルの使用目的や印字方法、貼り付ける環境など考えられるあらゆる要素を検討して最適な素材のラベルを提案しています。フィルム製品は、食品、薬品、工業製品などの包装に用いられる種々の商品形態に対応できるのが特長です。シュリンクラベル、軟包材、巻き取り個包装などに用いられるフィルム製品は、表示機能、管理機能、販促機能、セキュリティ機能など生活に必要な様々な機能を持っています。

コンピュータによる工程管理、版型管理、出荷管理など、常にリアルタイムで進捗状況をチェックできる体制を整備しています。

シール・ラベルは、生活を便利に楽しく彩り、食品、化粧品、医療品など暮らしの中にしつかり根付いています。カラーラベル、POPラベル、バーコードラベル、可変情報ラベル、ステッカー、計量ラベル、ビジネスフォームラベル、セキュリティラベル、RF-IDラベルなど多彩な製品群を揃えています。ラベルは、表面紙、粘着剤、セパレータ(台紙)の三層構造になっています。素材と

大阪シーリング印刷は、顧客の立場で考える。創業以来変わることのない顧客第一主義の基本理念を踏まえ、「独創(Originality)、誠実(Sincerity)、情熱(Passion)」をモットーにして高度化、多様化する顧客のニーズに対応するトータルソリューションを生み出します。印刷を核に挑戦を続け、印刷の枠を超えた総合特殊印刷メーカーとして、地球環境との調和が企業の重要な責務であることを自覚したものづくりを進め、これからも環境保全と資源保持に配慮し世の中に無い製品づくりに挑戦し続けます。



• ステッカー



• 計量ラベル



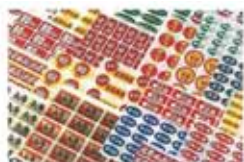
• ビジネスフォームラベル



• RF-IDラベル



• カラーラベル



• POPラベル



• バーコードラベル



• 可変情報ラベル

紙媒体からデジタル媒体へ

機関紙「関大」に連載している企業紹介は、紙媒体としては、今号(第574号)をもって一区切りとします。快く掲載に同意して頂いた企業をはじめ多くの方々のご協力に感謝します。ありがたございました。

企業紹介は、継続してデジタル媒体の校友会ホームページで校友企業のアーカイブを作るといふ新しい一歩を踏み出します。蓄積をいかに活かすか、新しいものを生み出す挑戦であると考えています。

(校友会連携プロデューサー 田中久仁雄)

所在地: 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町1-8
代表者: 代表取締役社長 松口 正
TEL: 06-6762-0001
FAX: 06-6766-2915
<http://www.osp.co.jp/>

5900余人の「強い関大生」が社会への貢献を胸に母校を巣立つ

4年間、関西大学でのキャンパスライフを通じて強くなった関大生たちが、ほろび始めた学園の桜と後輩たちの「おめでとう！」の声に送られて、あらたなステップに向け、思い出深い学舎を巣立っていく。春は、別れと新たな出会いの季節である。21世紀を担う若者たちの行く手には、社会の厳しい現実があるが、新しい人たちの巡り合いも用意されている。社会のさまざまな分野で活躍している41万校友も、新卒生を温かく迎えてくれることだろう。

平成24年度卒業式は、3月19日、午前10時と午後2時から千里山キャンパスの中央体育館で挙行され、5900余人の新学士が誕生する。

また、大学院学位(修士・専門職)記授与式は、21日、午前10

時から第2学舎4号館BIGホール1000で挙行され約800人が卒業する。

今号では、「卒業特集」として、寺内校友会会長、楠見学長、池内理事長から、それぞれ「卒業生に贈る言葉」をいただいた。また、課外活動やボランティア活動などで充実の4年間を培った8人の卒業生に、学生時代の思い出と新たな人生を歩みだす決意を執筆してもらった。

さらに3月末をもって関西大学の教壇に別れを告げる先生方のなかから、5人の方に「お別れの言葉」をいただいた。

なお、今年最初の卒業生を出した高等部は2月16日に、第一高等学校は2月20日に、北陽高等学校は23日に卒業式が挙行され、それぞれ125人、447人、392人が学窓をあとにした。



新卒業生に贈る言葉

夢に向かって、
さあ踏み出そう

校友会会長 寺内 俊太郎



期待に夢を膨らませ大学の門をくぐって、早や卒業を迎える皆さん。キャンパスは今日の門出を祝福し、春の陽光を浴びて木々は輝き、野鳥は大きくさ

えずり、気持ちのいい風が周りに漂います。

ご卒業される皆さんに、41万校友とともに心からのお祝いを申し上げます。

皆さんのキャンパスライフはいかがでしたか。在学中には、授業・ゼミ活動における恩師、クラブ・サークル・ボランティア活動などを通じた先輩・同期・後輩との出会いにより、多くの友人を得られたことと思

いますが、これらを通じた経験は関大人としての人間力を魅力的なものに育て上げて来られたと確信しております。また、恩師や家族への感謝を忘れず持ち続けて欲しいと願います。感謝の念はあなたを更に大きくするでしょう。

校友会では、在学生への支援活動として、クラブ活動や学園祭への援助、成績優秀者の表彰、給付奨学金の授与、更に学生の学術振興支援並びにスポーツ、文化振興支援を行っております。これらを通じて、校友会との繋がりを得た皆さんも沢山おられると思います。

校友会の奨学生となられた方

からのお礼の手紙には、色々な経験を経てから入学された方もおり、進学を諦めざるを得ないところを、目標を強く持つて勉学に励むことが出来、夢に向かって進みたいとの言葉が綴られています。その真摯な姿に大きな感銘を受け、まさに今、その夢に向かって大きく羽ばたいて欲しいと、心からの応援を送りたいと思います。

海外を含む全国各地で活躍中の校友には、各地の校友で組織運営されている1200の地域支部、110の職域会・同期会等があり、関大の同窓であるという結びつきで、それぞれの活動を行っており、校友会

が目指す社会との連携、地域との連携に深く関わり、活動の中でそれぞれが人間力を高め、校友の輪を更に広めておられます。

皆さんが、これら地域支部等に積極的に所属され、母校との絆を結んでいただき、充実した社会生活の一助としていただければと願っています。卒業後の皆さんの活躍は、母校・関西大学の評価、好感度を高め、一層の充実発展につながることにあります。

卒業生の皆さんの大いなる飛躍を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

新卒業生に贈る言葉

挑戦する人生を願って

学 長 楠見 晴重



る感謝の気持ちを精いっぱい表現してください。

皆さん卒業、誠におめでとうございます。皆さんの4年間の努力に敬意を表します。そして、皆さんもまた、ご両親はじめ、お世話になった方々に対す

さて、皆さんが関西大学に在学していた4年間、国内外で様々なことがありました。その中でも、2011年3月11日に発生した東日本大震災による、津波被害と福島第一原子力発電所事故は忘れることができません。この未曾有の大災害から2年が経過していますが、被災地の復興はほとんど進まず、被災者の多くは、未だに仮

設住宅で暮らし、生活の不安が続いています。また福島原発事故に関しても除染作業が進まず、故郷に戻れない人が多くいます。皆さんの中には、被災地でボランティア活動に取り組んだ人、あるいは被災地を対象としたゼミ活動、調査活動した人、または大阪の地から様々な支援活動を行った人もいます。さらに多くの留学生も日本人学生とともに、被災地の支援活動に携わりました。大変深刻で不幸な事態ではありましたが、被災地と向き合い、支援活動をしたことは、皆さんにとって大変貴重な経験となり、今後の人生において生かされることと思います。

さて、私たちはもう一つ、とりわけ若い皆さんに関係のある大きな課題を抱えています。日本は65歳以上の高齢者の割合は23.3%となり、超高齢社会に突入しました。この値は世界的にも最も高く、今後更に伸びていくと予想されています。さらに少子化が進行し、若い生産人口がどのようにして高齢者を支えるのか、さらに日本社会を持続的に維持発展させていく経済の仕組み、社会の仕組みをどう創造していくのかなど、重要な課題が山積しています。日本はある意味では、課題先進国に突入したともいえます。皆さんはこの山積した課題の中に飛び込むことになりますが、それは様々な挑戦の機会が溢れていることを意味してお

り、皆さんの人生をより充実したものにできる可能性を秘めています。言い換えれば、日本社会に限らず現代の人類社会は皆さんのような若い人の行動力とチャレンジ精神を必要としています。諸課題は人類として初めて経験するものばかりであり、既存の解答や方法を学び適用することで解決できるものではありません。解決のためには、皆さんの幅広い教養と、創造力、常識にとらわれない思考と実践が求められています。皆さんのその限らない力を発揮して、日本と世界の未来のために貢献していただくことを期待して、私の饒の言葉といたします。

門出を祝して

理事長 池内 啓三



に、心からお祝い申し上げます。

関西大学で立派に学業を修められ、数々の素晴らしい出会いや貴重な経験とともに、新しい世界へ船出する皆さん

長引く不況のなかで、ご家族に苦勞して学費や生活費を支弁してもらった人、大変な努力をしながら自立して卒業を迎えた人、いずれも周囲への感謝の気持ちと自信を持って、「関大人」として羽ばたいてほしいと願っています。皆さんが飛び込む世界は、

決して平穩ではありません。緊張の高まる外交問題、地球環境問題、不況による格差の拡大など、いずれも難しい問題ばかりです。しかし、途方に暮れる必要はありません。幸い、日本人は、くじけることなく、勤勉にやり通す精神に恵まれています。これまで、戦災や天災から、奇跡的な復興を遂げてきたことから、明白です。

皆さんはこれから、関西大学で学んだことを、社会で実際に役立てなければなりません。関西大学の学是である「学の実化（じつげ）」は、学問の社会的価値を高め、実際的な知識を取り入れることを目的とした理念であり、大学の長き歴史の中で、連綿と受け継がれてきました。様々な困難にも遭遇するでしょうが、「逆境」を自らの力を試す「チャレンジ」と捉え、大いに奮闘して下さい。

さて、学部もしくは大学院を修了された皆さんは、もう勉強はこれで終わりだと思っていないでしょうか。社会はめまぐるしく進歩し、変化し続けています。従って、卒業は一つの区切りであり、今後も本学で学んだ知識を基礎として、生涯学習、自己成長への努力を続ける必要があります。就職しますと、職場では実社会の厳しい問題にいきなり直面することになります。これまで学んだ「知識」を総動員して、ものごとの「本質」を見極め、「知恵」に昇華させることが求められます。こうした経験を繰り返すことによって、真の社会に有為な人材として活躍できるものと考えます。皆さんが「考動する関大人」として、世界中の41万校友とともに活躍されますことを、心から期待しています。

卒業に当たって

学生生活4年間の思い出

多くのひとの

出会いと交流

伊藤 晃嗣（環都4）

同好会鉄道研究会第50代会長



売している機関誌の製作、全国の社会人・中高大の鉄道系サークルや博物館との交流、ほぼ毎月あるイベント出展、関西有数の鉄道模型ジオラマの運営などあげたらきりがありません。

私は3回生の時、そんな鉄研の会長として、多くのひととの交流を行いました。その中で特に思い出深いのは、銀行の方と一緒に仕事をしたこと。3回生の秋、みずほ銀行阪急梅田支店から鉄道模型ジオラマ製作の依頼を受けました。学生の力だけで完成できるか最初不安ではありましたが、大学・銀行の支援、模型製作会社のバックアップ、そして鉄研の模型局のみんなの努力で3カ月後の春、無事ジオラマは完成し、銀行に納品することができました。新店舗の入り口に設置されたジオラマを見たときの感動は今でも忘れられません。

はじめまして。環境都市工学部都市システム工学科の伊藤です。大学4年間を振り返ってみて、真っ先に思いついた言葉は「交流」です。

私は、鉄道研究会に所属しており、そこで様々な場所でも多種多様な活動を経験しました。関大の鉄研は、関西はもちろん、西日本でも有数の規模を誇っております。一般に文科系のサークルは地道な活動が中心とイメージされると思われますが、鉄研は体育会並みに濃い活動を行っております。

わが鉄研の強みは、対外活動にあります。日本中の書店で販

感謝し、心からお礼を申し上げます。

協力してくれた仲間と

諦めずに努力を続けて

伊藤 遥（文4）

放送研究会本部長、前年度会長



私は、関西大学放送研究会に所属していました。お昼の校内放送をメインに、イベント司会やNHK全国大学放送コンテストなど様々な経験をし、充実した大学生活を送ることが出来ました。

3年生の1年間、私は放送研究会の会長になりました。放送研究会は歴史のある単独パートであり、多くの会員を抱えている団体で、そのトップに立つことに大きな責任を感じていまし

た。会長に就任した当初は自信がなく、迷ってはかりました。

しかし、副会長を始めとする会員や友人、大学の職員の方々、色々な人に助けていただき一つ一つ困難を乗り越えたことで自信を持てるようになりました。活動を楽しむ余裕ができ、やりがいをもって取り組むことが出来ました。サポートしてくれる人が傍にいてくれたことは本当に幸いでした。

NHK全国大学放送コンテストでは、1年生の頃から入賞を目指し経験を積み重ねてきました。何度も練習を繰り返して、3年生の時LIVE部門で第2位になりました。会長の仕事と両立しながらの放送活動は、時間のやりくりなど厳しい時期もありましたが、あきらめずに努力したことが結果につながったと思います。

大学生活を振り返ると、一見不可能だと思えることも協力してくれる仲間がいれば乗り越えられると学びました。諦めず、変えて行こうと自ら働きかけて行けば目標に近づくことができ。この4年間の学びを今後活かせるよう、社会人になってからも努力し続けます。最後に放送研究会の活動を支援してくださった学校関係者の皆さまにお礼申し上げます。今後とも放送研究会をよろしく願っています。

部で培った肉体と精神で
院に進学し法律家目指す

中村 洋輔（法4）

テニス部主務。チームは2012全日本大学テニス王座決定試合3位。



私は、体育会テニス部で充実した4年間を過ごしました。特に4年次は、主務を任せられ、忙しい毎日でした。

主務というのは、チームを陰ながらサポートし運営するマネージャーです。練習場所の確保、合宿の手配、大会の申し込み、大学に提出する書類作成など様々です。練習が終わり他の部員が帰ってから、部室に1人残って書類を作成するような日々でした。主務の仕事は、頑張っても目に見える形で成果が残るわけでもなく、地味で正直面倒くさいと思ったこともあり

ました。

私は、主務になったとき、「テニス部と大学を近づける」というテーマを決めました。なぜなら、与えられた仕事をただ処理するだけではなくて、主務にしかできないことを見つけて、少しでもテニス部を盛り上げていきたいと考えたからです。テニス部が初めて応援団との交流を持てたことは、今後の活躍への大きな力になると思います。

苦勞した事は沢山ありましたが、大学関係者の皆様、指導して下さった監督、コーチ、諸先輩方や部活の仲間、そして家族に支えられました。テニス部は今年、全国3位という戦績でした。チームが活躍することを願って主務の役目を果たしてきたので、少しでも貢献できたかなと思うと、嬉しく思います。

主務の経験から、「人と人の繋がり大切さ」を学びました。何をやるにしても、自分1人では無力ですが、多くの人を巻き込んでいけばその力は大きなものになります。私は今後、大学院に進学し法律家を目指します。テニス部で培った肉体と精神で勉強に励み、人を動かし社会を変えられる人間になりたいと思います。

テニス部の発展に関わって下さった全ての方々、本当にありがとうございました。

一期一会を通して 成長した自分

野口 麗奈（政策4）
ソフトテニス部主務。第32回全日本大学ソフトテニス王座決定戦で女子団体が創部初の3位。



私の大学生活4年間、体育会ソフトテニス部でも貴重な経験をする事が出来ました。大学に入学し、全国レベルで戦っている同期と共に入部し、3年生になり主務という役職を2年連続させて頂きました。主務という役割は登録手続き、会計、決算など部の運営には欠かせない役割です。

私達は毎年「全国優勝・西日本優勝・1部リーグ優勝」という3つの目標を掲げ、私が1年生の時に西日本初優勝を果たしました。部員みんなでモチベーション高く試合に臨む事により、4年生で1部リーグ初優勝、2度目の西日本優勝を成し

遂げる事が出来ました。優勝する事が出来たのも選手1人1人が一生懸命戦ったのももちろん、26人全員で戦えたからこそ1試合1試合勝つことが出来ました。その場に立てた事を誇りに思っています。

私は、主務をしている中で多くの事を学びました。まず言えるのは、自分一人ではなく様々な支えがあったからこそ主務をやり通す事が出来ました。仕事が多くて困っている時すぐに助けてくれる同期、間違った事があればすぐに注意して下さる先輩、いつも何か手伝う事はないかと気にかけてくれる後輩、わからない事があれば丁寧な教えで下さったスポーツ振興課の皆様など、常に支えられてきた2年間だったと思います。主務を通して多くの仲間がで、他の部活動の仲間とも交流を深める事ができました。このような経験や性格を活かし社会へ出ても多くの人との交流を深めていきたいと思っています。

この4年間、最後まで部活動をやリ遂げられたのも、監督、コーチ、OB・OGの先輩方、学校関係者、一緒に頑張ってきた仲間、そしていつも支えてくれていた両親がいたからこそ、このような経験をする事ができました。深く感謝すると共に、今後のソフトテニス部の益々の発展をお祈り申し上げます。

全ての人に「感謝」 経験糧に社会貢献を

原口 大（経済4）
学術研究会本部2011年度本部長



学生生活の思い出として浮かぶのは「感謝」の言葉です。

現代文学研究部に所属した私は、2年生時に縁あって学術研究会本部に入部しました。学術研究会本部は、学術研究会所属の22団体が発展できるように、各所属団体から出向した学生により構成されている機関です。3年生時には本部長に任命されました。

団体運営に関して無知だったために、意気揚々と仕事を始めましたが、すぐに本部長の重責に悩まされることになりました。自らの能力不足を知り、混乱し苦悩する中で1年間務めること

ができたのは、助けてくれた方々のおかげでした。

学生生活支援グループの皆さんは、時に優しく時に厳しく、サポートそして指導してくださいました。その中でも松田さん、我々がどんなにたくさんのご迷惑をおかけしても、私たちを見捨てることなく、いつも一番近いところで一生懸命に、我々を支援してくださいました。おかげでたくさんの事を学び、運営に活かすことができました。

また、OBの皆さん、後輩の皆さんを始め、財務局長の湯浅さん、渉外局長の前田さん、総務局長の上原さん、広報局長の芝池さん、企画局長の位原さん。毎日、喧嘩のように議論しながらも、私に寄り添い困難に当たってくれた本部長補佐の久野さんと東谷さん。そして学術研究会所属団体の部長、渉内の皆さんによる温かい支援と助言には、どんなに感謝をしてもしきれないほどに助けられました。全ての方々に心より御礼申し上げます。

これから卒業し、社会貢献していくにあたり、大学生活の経験を糧に今度は私が人を助けることができる人間になりたいと思います。

学術研究会は、将来大活躍するものと確信しています。どうか皆さま学術研究会を今後も宜しくお願いいたします。

1部昇格の目標に向け 信頼する仲間と激論も

久貝 樹穂(商4)

ラクロス同好会(女子)前主将。
11月3日の2部リーグ順位決定
戦で神戸大を破り、来期の1部
昇格を決めた。



関西大学での4年間は私にと
って、とても有意義な期間とな
りました。先輩方のかっこいい
姿に憧れラクロス同好会に入
り、4年間ラクロス漬けの日々
を送りました。学年が上がるに
つれて自分の成長のためだけ
なく、いかにチームの成長に貢
献するかということを考えられ
るようになりました。

2012年度のチームで私は
主将を務めました。1部昇格を
目標に、4学年65人の大所帯を
まとめるという貴重な経験をし
ました。練習試合では惨敗し、
ミーティングを行っても意見が
出ないという時期もありました。

しかし、部員一人一人の役割を
明確にすることでチームとして
機能するようになりました。と
きには意見が対立し、ぶつかり
合うこともありましたが、信頼
し合える仲間だからこそ意見が
言い合えたのだと思います。

8月からのリーグ戦が始まる
頃にはチームとしてのまとまり
が出てきました。その結果、8
戦全勝で1部昇格を果たすこと
ができました。私にとって、目
標を果たせたことはもちろんで
すが、最終的にチームとして皆
が同じ方向を向いて進めたこと
が何よりもうれしいことでした。

また、私が4年間ラクロス
をすることができたのは、ラクロ
ス同好会のOB・OGの方々、
同期、後輩だけでなく、多くの
方のご理解、ご協力があったか
らだと思っています。本当に感
謝の気持ちでいっぱいです。こ
の感謝の気持ちを忘れることな
く、ラクロス同好会での4年間
の経験を活かし、春からは社会
人として日々成長していきたい
と思います。

最後になりましたが、ラクロ
ス同好会は同好会という立場に
ありながら、体育会本部の方々
をはじめ、多くの体育会に携わ
る方々にご支援、ご指導いただ
きました。この場をお借りして
お礼申し上げます。

レスリング部で得た 感謝の思いと今後の糧

増谷 剛(文4)

レスリング部主将。2012西
日本学生レスリング選手権大
会・グレコローマンスタイル60
kg級優勝。



私は、この4年間で多くのこ
とを学び、充実した生活を過ご
すことができました。その背景
には、私が3回生を迎える年に
レスリング部が起こしてしまつ
た不祥事があります。それまで
の私たちは、勝つためだけにレ
スリングに打ち込み、周りには
目を向けたことがありませんで
した。

しかし、不祥事からの再建活
動の際に、自分一人では何もで
きないことに気づきました。ま
た、毎日練習できる有難さを知
りました。大きな不祥事を起こ
したのにも関わらず、レスリン

グ部に再建の機会をくださった
大学関係者の方々や身近で支え
てくれた家族の存在がなければ
私は充実した大学生活を送るこ
とはできなかったと思います。
部活動に徹することができると
は、整備された環境を提供して
くださる大学があり、支えてく
れる家族がいるからだと思に染
みて感じるようになりました。
こうした感謝の気持ちを持てた
からこそ、残りの1年間では、
さらにレスリングに打ち込むこ
とができました。

私は、4年間で満足な成績
を残すことができませんでした
が、私を支えてくださった方へ
は、部活動の成績だけでなく、
今後の私が人間として成長した
姿を見せることで恩返ししてい
きたいと思っています。そのた
め、不祥事から学んだことを今
後も忘れることなく、日々精進
していきたいと思っています。

また、私の後輩たちも不祥事
を乗り越え、大きく成長し、今
後の活躍に期待できると思いま
すので、今後もレスリング部の
応援よろしく願います。

最後になりますが、私が関西
大学の体育会に所属していたと
いうことは大きな財産です。そ
のように感じることでできたの
も、多くの支えてくださった方
のおかげです。4年間ありがとうございました。

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 **OFF**
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険代理店事業部・事務機器事業部
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社・豊中営業所 豊中市新千里北町2-20-8/吹田営業所 吹田市佐井寺4-43-8/関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内 TEL0120-50-5421

継続する難しさを知る 努力が報われた瞬間も

松村 紀歩（商4）
ハンドボール女子部主将。2009、2011全日本学生ハンドボール選手権ベスト8。



私の大学での4年間は、ハンドボール一色だったと思います。高校3年生の時に膝を怪我してしまい、不完全燃焼だったこともあって、大学では自分のハンドボール生活にリベンジするつもりで入学しました。

入学した頃は、まだリハビリの毎日で、早くみんなと練習がしたいという一心で自分を奮い立たせていたことを今でも鮮明に覚えています。そのかいあって、1年生から試合にたくさん出させていただきました。そこで感じたことは、自分の無力さです。上には上がいて、高校で通用していたプレーが大学では通用しないことを自ら学びました。次第にもっと上手くなりたいと思うようになりました。

この4年間で一番難しいと感じたことは、継続することです。心では上を目指したいと思っ

もなる毎日の練習に悩んだこともありました。なかでも最後の1年間は、主将としてチームを牽引することとなり、試合などで結果がついてこず、何度もうけそつになりました。そんな時、仲間がいつも再度奮起する希望を与えてくれました。

を受賞できたのも、監督、コーチ、仲間、そして家族の支援があったおかげです。そして、大学関係者の皆様、ハンドボール関係者の皆様、よい良い競技生活を与えてくださり、本当にありがとございしました。重ねて感謝申し上げます。今後は、この大学での経験を活かし、感謝の意味を込めて社会人として精一杯働きたいと思

大学を去るに当たって

定年退職教授のお別れの言葉

感謝

商学部教授 明神 信夫



ていたから、おおよそ半世紀近く関大にお世話になってきたことになる。

関西大学には学生、院生として9年間、その後他大学で教鞭を執って同じく9年間過ごし、再び関西大学に戻ってきたのは、昭和59（1984）年であった。爾来29年間関大の歴史とともに歩んできた。他大学に勤務していた間も関大へは非常勤講師等で1週間に1度以上は来

かつてゼミ生から「先生は顔で損してますね」と言われたことがある。気難しそうな顔をしているからそのような印象をもたれるのもしかたがない。しかし、損をした記憶はない。むしろこれまで、顔で損をしそうだから、何とかしてあげないと...と思われてか、いろんな方から世話をしてもらった記憶の方があ



そのため、中小企業の経営者から、いつしか「まいど教授」と呼ばれるようになりました。

そうした観察・研究を続けるうちに、日本経済の根幹をなす中小企業を常に活性化させ、落ち込んだ時に復活・再生させるためには、一企業単位での方策や支援を考えるのではなく、地域単位での捉え方が必要であると思うようになったのでございます。地域というものは独特のネットワークを形成している、というよりも、むしろそのネットワークの仕組みが特定の地域を形成させていると言う事が解

くれたのだと思う。4月からは、非常勤として週1日関大に行くことになるが、それ以外の多くの時間を30歳頃から封印してきた趣味に費やすことを楽しみにしている。

まいど教授とゼミ生

社会学部教授 大西 正曹

私は、過去30年間関西大学に在職し、ゼミ生と共に東大阪を中心に全国の中小企業を取材してきました。いつも気軽に「まいど、まいど」と訪問を繰り返

道は、言わばほんのわずかでありました。

以来、私の研究は地域の姿を見つめ、地域とともに考え、地域とともに歩んできたのですから、たとえその時々日本全体に影響を及ぼす大きな社会的関

心や経済情勢が視野にあったとしても、そのほとんどが地域と中小企業の動向を凝視することに費やされてきたといっても過言ではないでしょうか。

特に、ゼミ生の活動も東大阪の中小企業集積地の分析に多大の時間を費やしました。近年では、大阪天満天神橋商店街の街ガイド、絵馬作成、花娘、天神祭の後の掃除、天満宮の各種行事参画などを通して、地域の方々から大学では得られない貴重な地域再生のあり方も、皆さんから学ばせて頂きました。また、農業分野に興味を持ち、兵神機械工業様のご支援で農業インターンシップを体験し、その中で、未来産業としての農業を模索してきました。東日本大震災に際しては、数か月にわたり、新鮮な野菜を被災地にお届けするプロジェクトに率先して取り組んでくれました。

また、話は変わりますが、インドネシアについては、1989年から10年近くゼミ生と訪問し、現地の日系自動車とその関連企業を取材して、ゼミ生はその成果を『インドネシアの日系自動車産業』として報告書を出すこともできました。こうしたゼミ生との体験の中で、私は30年間ゼミ生と地域再生に力を注いでまいりました。最後にゼミ生に心から感謝するとともに、社会学部、関西大学のますますの充実とご発展を祈念します。

自由闊達な校風

政策創造学部教授

一圖 光彌



私が関西大学の経済学部に着任したのは1981年のことです。当時、経済学部ではカリキュラムが改正され、社会保障論の講義が新設されることになり、担当者を採用する必要が生じました。ただ、当時は社会保障を勉強する先生が少なく、国の研究機関に勤務していた私にまでお声がかかることになりました。私のような経歴の者が伝統ある関西大学経済学部就職できたのは、こうした幸運からでした。以来、関西大学の伝統に倣うことのないようにと頑張ってきたつもりですが、結果として何の貢献も出来ず申し訳ない気持ちで一杯です。

当時は、大学以外の仕事にも興味があり、長く勤めるとは思っていませんでした。それが結果として32年もの長きにわたってお世話になったのは、「関西大学教授」の肩書きのおかげで、国内外で何と自由なく自分のしたい研究を続けることが出来たからでした。また肩書きのおかげで、兵庫県の長寿社会研究機構の創設に常務理事・研究員として関わり、今日の介護保険につながる高齢者福祉の研究に挑戦する機会も与えられました。地方労働委員会の公益委員として1990年代後半以降の厳しい経済情勢下で生起する労働問題の現場に身を置き、自らの社会保障論を見直す機会も得ることができました。感謝に堪えません。

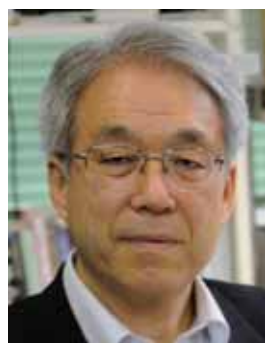
とはいえ、私が関西大学を離れたらなかった本当の理由はより情緒的で、このキャンパスでたくさんの方と出会うことが出来たこと、関西大学を離れると学生さんたちとの楽しい思い出も消えるような気がしていたからだと思っています。このキャンパスで入学したての不安げな学生さんが、先生や友人とともに勉強し、またクラブ活動などを通して豊かな人間性を培うなかで、日にたくましく成長していく姿に接することが出来ました。そして、皆さんと様々な感動をともにすることによって、皆さんに負けじと何時までも若い気持ちを持ち続けることが出来ました。

校友の皆さん、数多くの感動と楽しい思い出をありがとうございました。

楽しかった32年間

環境都市工学部教授

冬木 正彦



32年間の関西大学での在職期間を振り返ると、教育研究を本当に自由に楽しくやらせていただいた、ということがまず頭に浮かびます。

理論物理学分野でのポストドクを経て工学部に就職したので、現場で役に立つ研究をすることを目指しました。卒業研究生や大学院生に恵まれ、コンピュータシミュレーションに基づく生産スケジューリングシステムを開発でき、それは企業で商品化され製造現場で使われました。さらに提案したスケジューリング法により日本経営工学会の学会賞もいただきました。

学内においては、情報システム関係の知識を活かし、80年代にはインターネットでの電子メールやLANを使い始める前例を作り、90年代には関西大学ホームページ開設と運営に携わりました。

2000年からは、教育を支援する情報システムに関わり始めました。eラーニングシステムを始めたのはCAD教室をオープンデザイン教室に改名することになったシステム更新が

THINK PRINTING

印刷する会社から印刷を考える会社へ



東洋紙業高速印刷株式会社

〈本社〉 〒556-0029 大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL 06(6567)0511(代) FAX 06(6567)1539

広島営業所/九州営業所

っかけです。大学という現場で役に立つCEAS（シーズ）を企業と協力し院生の尽力もあり開発できました。

CEASは、学内の多くの先生方に利用され、その実績を背景に提案した取組が文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援事業に関西大学としては初めて採択され、その支援の中でCEASを米国発のSakaiシステムと連携したCEAS/Sakaiシステムに発展させました。日本工学教育協会から工学教育賞をいただいたのはこの開発普及活動によるものです。

さらに、大阪大学の取組との連携により専門英語教育システムの普及に貢献でき、文部科学大臣表彰を受けたのも、教育の現場で使われているCEASがあつたからこそです。

シナリオを描いて工学分野の研究に踏み込んだわけではなかったたので、振り返って「よくそこまで続けて来れた」との感懐を持ちます。このような状態に到達できたのは、関西大学の高い評価と、多様な教員、意欲ある学生、協力を惜しまない職員、存在の賜物であり、改めて皆様に感謝しています。

学生、教員としての52年間の思い出

化学生命工学部教授

浦上 忠



1961年に関西大学に入学し、天六学舎での工学部の入学式で、学長は「工学部の学生は学問一筋に頑張らないと、4年間で卒業できないかも知れない」と話された。正直言つて落胆した。幼い頃、病弱であつた自分を救つてくれたのは運動であつた。だから高校時代の柔道に引き続いて大学でも運動部に入部したかつたが、その望みは絶たれたかのように思えた。

しかし、それは自分の情報収集不足で工学部に空手道部があつた。半年遅れの秋に工学部空手道部の門をたたいた。しかし、半年遅れの入部は正に半年生であつた。技の面では致し方ないが、体力だけでも一人前になりたく、毎朝須磨海岸の砂浜のランニングに励んだ。2年生の夏の合宿の頃には、何とか同級生と肩を並べられるようになった。練習はとて厳しかつたが、4年生の秋の大会まで頑張り、最後の試合で大将をつとめた。約3年間の空手道の修業は、体力はもとより精神的な面で得るところが多く、その後の卒業研

究、大学院生、教員としての研究の支えになり、課外活動は学生にとつての特権であると感じた。

学部、大学院での6年間の熱硬化性樹脂の動力学的な研究の後に、工学部助手に奉職。同時に高分子膜の研究に携わり、以後43年間高分子膜の研究に没頭できた。奉職当時は研究室が新しかつたため、研究環境は必ずしも恵まれた状態ではなつたが、元気で明るい学生諸君と研究室の向上に向け頑張り、年数と共に評価されつる研究成果が出てくるようになった。

学生、院生と共に過ごした研究生生活の中でいろいろ楽しく、嬉しいことが沢山あつたが、今も鮮明に記憶しているのは、海外の国際会議で研究発表したいため、関西大学を指定校としていない科学技術振興財団に所定の用紙ではなく、自作の申請書

で国際会議参加助成に応募したことがある。申請してから数か月は何の連絡もなかつたが、年の瀬も迫つた12月28日に財団の専務理事から「採択しますので正式の申請書を提出してください」との電話を頂いた。あの時の感激は今も忘れられませんが、それ以後、多くの財団にご高配を賜り、世界中の国際会議に参加させていただき、関西大学の浦上として活躍できたことに誇りを感じ、各位に感謝いたす次第であります。

型にはまらず続けてきた研究成果が、退職間近の数年で新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の大型事業に採択され、長年の夢への実現に向けての挑戦をしつづ、卒研究生、院生諸君と共に、労なくして功なし、労すれば功ありを座右に過ごせた長年の教育、研究生生活に感謝しながら拙稿を閉じ

●26人の先生が退職●

この3月31日付で、26人の先生が定年等で関大を去られることになった。

文学部（2人） 入子文子教授、大演眞幸教授 経済学部（1人） 元木久教授 商学部（1人） 明神信夫教授 社会学部（5人） 大西正曹教授、架場久和教授、富田拓郎教授、藤岡伸一郎教授、佐藤万亀子副手 政策創造学部（2人） 足立幸男教授、一圓光彌教授

外国語学部（1人） 杉谷眞佐子教授 人間健康学部（1人） 金子絵里乃助教 総合情報学部（1人） 宮下文彬教授 システム理工学部（4人） 植村知正教授、内山寛信教授、岡田博美教授、栗栖忠教授 環境都市工学部（2人） 豊福俊英教授、冬木正彦教授 化学生命工学部（3人） 浦上忠教授、三宅秀和教授、矢木秀治教授 法務研究科（3人） 越山和広教授、鳥越健治教授、那須彰教授

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO- 9001



ISO-14001



OHSAS-18001



東アジア文化交渉学の教育研究拠点 文科省の大学院支援補助金に採択

文部科学省平成24年度「卓越した大学院拠点形成支援補助金」に、東アジア文化研究科から申請した東アジア文化交渉学の教育研究拠点が採択された。

この支援補助金は、優秀な学生をひきつけ、世界で活躍できる研究者を輩出する環境づくりを推進することを目的として、優れた研究基盤を活かし高度な教育と研究を融合する卓越した拠点を有する大学に対し、博士課程の学生が学修研究に専念す

る環境を整備するために必要な経費が支援されるもので、全国の国公立大学の中から24大学が選ばれた。

その中でも本学の拠点は、独立行政法人日本学術振興会において行われた当該専攻等の教育研究実績に基づく卓越性の評価結果においても、最高評価の「S」評価を獲得した。「S」評価としてグループ分けされた9大学18専攻等には、特に高い配分率において補助金が交付された。

高槻キャンパスに 情報演習棟が竣工

総合情報学部は、今年4月に開設20年を迎えるが、節目の年に高槻キャンパス・K棟（情報演習棟）が完成、2月26日に池内啓三理事長、楠見晴重学長はじめ総合情報学部関係者など約50人が出席して竣工式が挙行された。

K棟（情報演習棟）は、キャンパス北側のバス停に一番近いところに建設され、いわばキャンパスの玄関口ともなるため、玄関としての空間創りに寄与するデザインが試みられている。

建物は、延床面積4547・17平方メートル、鉄筋コンクリ



ート造り地上3階地下1階塔屋建てで、演習室57室、個人研究室3室、多目的室1室のほか、キャリアセンター高槻分室、保健室、心理相談室、学生の作品・研究成果等の展示スペースが設置されている。

13年度一般・センター利用入試終わる 志願者数は8・5%増の8万6753人

2013年度学部一般入試・センター利用入試は、学部個別日程・全学部日程・センター利用中期試験が2月1～8日に、後期日程が3月3～4日に、千里山キャンパスをはじめ全国28都市で実施された。

13年度の志願者数は、昨年度より6773人多い8万6753人（108・5%）となった。



や、昨年度、志願者数が減少したことなどの反動もあり、志願者数は大きく増加した。全国的には、理系人気が高まっており、関西大学においても理工系学部はいずれも昨年度比で10%以上志願者数が増加した。また、長引く景気の低迷から地元志向が叫ばれるようになって久しいが、今年度については近畿地区の志願者数が8・4%の増加に対して、近畿以外の地区合計でも9・3%の増加となった。各学部の志願者数は次のとおり。（％は昨年度比）
法学部7215人（116・7%） 文学部1万51

■正規取扱メーカー／アルファロメオ・フィアット、シトロエン、ロータスカーズ、MG Rover、シボレー・スタークラフト、キャデラック、HAMMER、ケーターハム・スーパー7、モーガン
＜その他取り扱い車種＞メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ジロン自動車株式会社

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司

<http://www.jiron-auto.co.jp>

〒556-0001大阪府大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
●営業時間：（平日）9:00～19:00（日祝）10:00～19:00 年中無休 ※年末年始は除く

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新! ジロン自動車 で 検索

5人(97・9%) 経済学部
8232人(107・6%)
商学部9514人(11
2・2%) 社会学部1万3
14人(97・9%) 政策創
造学部5314人(147・
9%) 外国語学部3993
人(98・1%) 人間健康学
部3877人(112・
0%) 総合情報学部579
9人(106・4%) 社会
安全学部2479人(94・
7%) システム理工学部8
934人(112・9%)
環境都市工学部4760人
(115・8%) 化学生命
工学部5807人(112・
4%)

なお、AO入試やSF入試
など多様な入試を加えた志願
者総数は9万330人となっ
た。

道頓堀商店会と連携協力協定を締結

「道頓堀五座の風景」CGの上映も

関西大学と大阪・道頓堀商
店会は、教育・文化・街の活性
化等の分野において双方の発展
と充実に寄与し、積極的に連携
することを目的に「連携協力に

関する協定書」を締結すること
で合意に達し、1月16日に10
0周年記念会館で、今井徹商店
会会長、楠見晴重学長ら関係者
が出席して協定書の調印式を行
った。

2015年に道頓堀開削40
0年という記念すべき年を迎え
る道頓堀商店会では、それに向
けて都市再生のさまざまな取り
組みを計画している。一方、大
阪に生まれ大阪に育てられた関
西大学としても、大阪の文化遺
産を活用し、大阪文化の復興に
寄与したいとの強い意向があり、
双方が連携することで都市大阪
と大阪文化の再生に貢献したい
との結論に達し、このたびの調
印の運びとなったもの。



調印式に引き続き、CGによ
る町並み復元映像「道頓堀五座

の風景」を上映するとともに、
第2弾として予定されているC
G「道頓堀芝居小屋の復元」の
基礎となる新発見の資料、「大
阪の劇場大工中村儀右衛門資
料」の一部も披露された。

ミューズキャンパスで 三陸復興フォーラム開催

高槻ミューズキャンパスで1
月26日、岩手県との共催で東日
本大震災からの復興を考える
「いわて三陸復興フォーラム」つ
なかりを力に」が開催された。
最初に基調報告をした岩手県の
達増拓也知事は、復興支援への
謝辞とともに今後の創造的復興
計画を説明。続いて、基調講演
をした復興庁復興推進委員会の
五百旗頭真委員長は、「創造的



復興を果たし東北が復興モデル
に」と訴えた。

被災者や被災地に関わる4人
を招いて、「さあ!!くらし興
し・仕事興し・夢興し」のテー
マで行われたパネルディスカッ
ションでは、被災地の現状、復
興への取り組みの報告が行われ、
釜石市にある旅館「宝来館」女
将の岩崎昭子氏は、皆から必要
とされたことが今まで頑張って
これた原動力」と語っていた。
最後に、コーディネーターを務
めた社会安全学部の永松伸吾准
教授が、いわてに行こう、いわて
のものを買おう、これからもし
わてに関わろう」と締めくくり、
会場を埋めた参加者から、盛大
な拍手が送られた。

フォーラム開会に先立ち、宮
古工業高校と神戸・舞子高校、
社会安全学部生たちによる交流
プログラムも実施され、宮古工
業の生徒が作成した津波模型を
使って震災当日の様子を再現し
たり、被災地を訪問した舞子高
校生、関大生のレポートの発表
など、「共に学ぶ被災・命」をテ
ーマに意見交換が行われた。

大阪くらしの今昔館で 「なにわユーモア画譜」展

4月20日(土)から大阪くらし
の今昔館(大阪市北区)と関西
大学総合図書館との共催で、展

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信 義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
〒177-0033
東京営業所
及工場 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ <http://www.kyoei-d.co.jp>

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型薯蕷(上用)謹製

厚生大臣賞 受賞
日本食品衛生協会会長賞

和 洋 御 菓 子 司

株式会社 **昌月堂**



〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)



覧会「なにわユーモア画譜」関西大学所蔵大坂画壇コレクションを中心に、大阪くらしの今昔館で開催されます。

この展覧会は、総合図書館が所蔵する、江戸時代から明治・大正・昭和初期にかけて大阪で活躍した「大坂画壇」といわれる日本画家の貴重な作品を紹介するものです。大阪らしく滑稽でユーモアに富んだ作品を中心に、風俗画、文人画、美人画など、多彩な作品構成で大坂画壇の魅力に迫ります。この機会に、是非とも足をお運びください。

また、展覧会に先がけて4月1日～8日の期間、総合図書館1階展示室でミニ展示を開催します。滑稽で風刺あふれる戯画で知られる耳鳥齊の「福祿寿」や「別世界」、幼児の玩具を鮮やかな色彩でユーモラスに描いた「児童玩具図」(忍頂寺静村)春爛漫の風情漂う「美人観之図」(月岡雪斎)など、大坂画壇のエッセンスが凝縮された展示をお楽しみください。

(図書館事務局)

一高同窓会が1千万円 一高一中の百周年募金

関大一高・一中は、その前身である関西甲種商業学校が、大正2年に福島学舎で産声をあげて以来、今年11月に創立100周年を迎える。

法人では、プールの建替え、校舎の改修、ICT教育の推進、正門周辺の整備などの記念事業を決定し、24年度から記念事業募金の募集を進めているが、一高同窓会(小坂圭一会長)では、このほど同窓会として1千万円の寄付を決め、2月20日に小坂会長、古淵孝仁・長谷部憲司両副会長が池内啓三理事長を訪ね、目録を手渡した。

アイスホッケー部がインカレで準優勝

関西学生氷上連盟所属大学で初の快挙



1月6～9日に、栃木県立日光霧降アイスアリーナで行われた第85回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)のアイスホッケー競技で、アイスホッケー部が準優勝した。

決勝では1～2で中央大学に敗れたものの、準優勝は、関西学生氷上競技連盟所属の大学として史上初の快挙となった。

また、フィギュア部門競技女子Aクラス団体で、アイススケ

小坂会長は「できれば正門周辺の整備にお使いいただき、完成の暁にはプレートの設置を」と要望、池内理事長は「これを機に募金活動が格段に促進されることを望んでいます」とお礼を述べた。



ート部が連覇を果たした。

高橋大輔全日本2位 織田4位、町田9位

12月21～23日に札幌市真駒内セキスイハイムアイスアリーナで行われた第81回全日本フィギュアスケート選手権大会で、男子シングルでは、アイススケート部の高橋大輔(M文2)が2位、織田信成(M文2)が4位、町田樹(文4)が9位に入賞した。

また、女子シングルでは、中等部3年の宮原知子が3位、アイススケート部の村元小月(文4)が9位入賞を果たした。



宮原知子全日本3位 シニアで初の表彰台

第81回全日本フィギュアスケート選手権大会の女子シングルで、宮原知子はSP(ショートプログラム)で、技術点ではトップの成績を挙げて3位につけ、フリーでも高難度のジャンプを



組み込み、この日も技術点トップで自己ベストとなる120.36点を出し、見事銅メダルを獲得、シニアの大会では自身初の表彰台に上がった。

2月14日には、両親、米津俊司中等部・高等部校長らとともに、池内啓三理事長と楠見晴重学長を訪問。「大きな大会で結果を残すことができてよかった」と全日本フィギュアスケート選

窓を考える会社 YKK AP

YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141

www.ykkap.co.jp

手権での3位入賞などを報告した。また、2月27日から3月2日にイタリア・ミラノで行われる世界ジュニアフィギュアスケート選手権への出場を前に、理事長、学長からは激励の言葉が贈られた。

織田が2大会で優勝 村元3位、國分5位

1月27、28日に国立代々木競技場第一体育館で行われた第68回国民体育大会冬季大会スケート競技会フィギュア競技成年男子で、アイススケート部の織田信成(M文2)が優勝した。

成年女子に出場していた村元小月(文4)が3位、國分紫苑(社3)が5位、村元哉中(人1)が6位に入賞した。

また、織田は、2月7、10日にドイツ・オーバースドルフで行われたフィギュアスケートのババリアン・オープン男子シングルでも優勝を飾った。



重量拳部の山本優勝 西尾2位、尾崎3位

12月7、9日にさいたま市記念総合体育館で行われた第13回全日本大学対抗女子ウェイトリフティング選手権大会で、重量拳部の山本優子(文4)が58kg級で優勝を飾った。

6回目を迎えた淀川大掃除ボランティア 学生6百人にミズノ、北陽高からも参加

淀川河川公園で2月9日、関大生ら約600人とミズノ(株)の社員約30人が淀川大掃除を実施した。

淀川掃除ボランティアは、ボランティアセンター学生スタッフ、関大生にボランティア活動について関心を持ってもらうために、2007年から実施してきたもので、今年で6年目を迎えた。

昨年度は、学生スタッフが国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所から「淀川サポーター」に認定されたことを受け、規模を拡大して記念事業第1回「淀川大掃除」みんなの力で輝く淀川」として実施し、今年度も、第2回目の記念事業として開催したが、今回は、主旨に賛同した関大北陽高校の生徒約60人も清掃活動に駆けつけた。

また、75kg級の西尾里菜子(人1)が2位、69kg級の尾崎都加(文3)が3位に入賞した。



寒空の中、参加者たちは力を合わせ、朝10時からベクトポトルや古タイヤなど約6・8トンのゴミを回収した。



卒業生就業支援室からのお知らせ

校友に向けた求人情報のご紹介をお待ちしております。

卒業生就業支援室では、学部卒業(大学院修了)後、5年程度までの卒業生に対して就業支援サービスを展開し、自分の能力を伸ばすために転職を考えている方や、卒業後の進路が決定しなかった方、公務員や資格試験を断念して改めて就職活動をスタートする方に対する就業相談や支援セミナーを行っています。

この支援サービスには、年間を通じて約600名の新規登録があり、その中には自身の専門性を磨いた人材や、就業意欲の高い人材が多数ありますが、企業・団体様から寄せられる求人数は、景況を反映してか伸び悩んでおり、能力・意欲があるにも関わらず、就業に至っていない卒業生が継続登録をしています。

自社の人員拡充をお考えの経営者の方や、人事担当者様におかれましては、転職エージェントを利用した採用活動や、ハローワーク等への求人登録のみならず、本学の「卒業生就業支援室」にも、是非ともお声掛けをいただき、求人票をご送付いただければ幸いです。

本学校友の皆さま方におかれましては、卒業生就業支援室の事業にご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【お問合せ先】

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

関西大学キャリアセンター卒業生就業支援室

電話06-6368-0345、Fax06-6368-1358

E-mail: sotsushien@ml.kandai.jp

URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/Syusyk/graduate/index.html>

台湾OB会・李銘坤会長の母校訪問と

台湾の現役留学生とOBOGの忘年会

12月15日、台湾現役留学生と留学生OBOGの忘年会にご出席される機会にあたり、一昨年の校友総会に参加以来、約2年ぶりに日本関西大学台湾OB会・李銘坤会長が母校に帰ってこられた。

国際部、留学生別科訪問

前回は、関大前通りを歩いての母校訪問であったが、今回は南出口から下車、エスカレータに驚きつつ校友・父母会館を訪

問。続いて、留学生フェアなどで李会長に協力をいただいている関係上、国際部も訪問され、さらに留学生別科のある千里国際プラザを見学された。

コミュニケーションマークを施した台湾OB会オリジナルのピンバッジを今回のために作成され、校友会本部にもいただいた。コミュニケーションマークの周囲には「TAIWANESE STUDENT ASSOCIATION OF KANSAI UNIVERSITY」と刻まれている。今後もオリジナルのグッズを作って台湾校友に啓蒙したいとのことであった。

夕刻からは、校友会から寺内会長、三木広報部長、渡邊組織部長、東郷事務局長、奥田事務局課長が参加し、また先方からは李会長と友人、そして、在日本の留学生OB会長である李宗翰氏にも参加いただき、梅田・知慕里にて交歓会を開催した。

知慕里は老舗のしゃぶしゃぶの名店であり、李会長曰く、嘗ては台湾留学生の溜り場のひとつであったという。当方はそれを知らず、李会長としては非常に懐かしく思われ、大変喜ばしい偶然であった。交歓会では、校友会と台湾OB会の将来や、双方のネットワークの構築、交流事業などについて協議し、また、国際部の留学生フェアなどに協力いただいている関係上、大学の国際戦略、留学生の獲得、就職支援などについて活発な意見交換を行った。

台湾OB会は、昨年度、校友会の海外研修を機に、ともに協議を重ねて、これまでの台北OB会（在台北日本人校友のOB会）と台湾留学生OB会をひとつにし、「日本関西大学台湾OB会」として新たなスタートを切り、精力的な活動をしている。偶数月の隔月、第4金曜日、または土曜日を軸に例会を開催しており、例会以外にも懇親会を催すなど、この1年で会を催す毎に参加者が増えているという。また、台北には校友が決まって集まる御用達のような店もあり、台湾校友が集まるひとつのサロンのようなものになっているとのこと。

また、台湾OB会は、短期や交換留学生も同じ大学の門をくぐった仲間として受け入れ、関

大ネットワークを作っている。今後は、台北だけではなく、年6回の例会のうち、数回は台中や台南、高雄など場所を替えて開催し、さらにその1回は総会として、校友会本部を迎えて開催するようにしたいとの申し出もあった。

李宗翰氏には、在日本の留学生OB会長として、今回改めて正式にご挨拶させていただいた。当方としてもその活動を知らずで、今後は李宗翰氏を通じての交誼をお願いした。活動としては、現役留学生への支援が主であり、4月に留学生歓迎会と12月の忘年会に在日本の留学生OBが参加している。留学生にとつては非常に頼もしい存在である。名簿もまだまだ整っておらず、本部としても鋭意協力していきたい。

大東洋で盛大な忘年会

12月16日、梅田・大東洋にて台湾現役留学生・OBOG忘年会に参加した。

大東洋は、代表取締役の洪里勝信氏が台湾出身の校友であり、古くから台湾留学生を支援いただき、この12月の忘年会と4月の新入生歓迎会に多大な協力をいただいている。

大学からは山本英一学長補佐、カイト由利子先生など関係する教学の先生方はじめ国際部



の事務職員と、校友会からは奥田事務局課長、李会長との親交により中井邦夫事業部副部長が参加した。

現役留学生の司会進行により、山本学長補佐、洪里社長の挨拶、そして李会長の挨拶があった。李会長からは留学生フェアにおける大学の戦略性に触れ、派遣人員の少なき、留学生別科のアピールすべきポイント、留学生に配布するパンフレットの内容充実、さらに留学生の就職支援の強化を強く訴えられた。

続いて、台湾留学生に対して古くから職員の立場で支援された稲置啓一氏の発声により乾杯が行われ、挨拶ではいくら時間があっても足りないほど、その台湾留学生との関りを述べら

れ、稲置氏への敬愛と感謝に李会長が涙ぐむシーンもあった。

多くの台湾留學生が参加し、学生たちには抽選会で多様な賞品を贈呈するなど、大いに盛り上がり、最後は学歌、逍遙歌を全員で3番まで円になって歌いあげ、記念撮影で散会となった。校友会も近年の国際化に伴い、また、学生支援の立場からも校友会として留學生に対しどのような支援を行っていくのか、国際部や海外支部と連携を取りつつ策定をはかりたい。

(校友会事務局 奥田恵造)

過去最多の26人が出席 国際部の池田先生らも

関大台湾OB会(李銘坤会長)は、12月21日に今年度第6回例会を開催、関西大学国際部より池田佳子先生と横山隆太さんの出席をいただき、過去最多の総勢26人が出席し、校友同士の絆を深めた。

本会では、2カ月に1度は例会を設けるなど精力的に活動を行っており、最近では例会を開催する度に参加者数が過去最多記録を更新していることでも、ここ台湾で校友同士の絆の深さと母校を愛する気持ちの強さが感じられる。

何より台湾OB会の特色は、台湾に駐在している日本人校友と留學生の台湾人校友が同じ同



窓会に組織していることである。

そのことから、例会では中国語・日本語が入り混じる。左の人と話す時は日本語で話し、右を向けば中国語を話す。美味しい料理を皆で囲んで、先輩方の力強い笑い声があちこちから聞こえるこの例会で、私も元気をもらえる。2カ月に1度あるこの家族と会うような温かい空間が私はとても好きだ。

今回の例会では大学院時代にお世話になった池田先生とも再会することが出来た。現在国際部と台北で新たな繋がりが進行しているというところで、今後、より台湾と関大生の交流が密になっていくかと思うと私自身大変に嬉しく思った。私は参加出来なかったが、10人ほどが二次会に参加したそうで、空けたウ

イスキーのボトルは6本半。どれほどの盛り上がりだったのか大変に興味深い。次回は私も社会勉強のために参加してみたい、いずれ皆さんにその様子を紹介出来たらと思う。

2013年第1回例会は、3月1日に開催される。2013年度の例会では、台北だけでなく台中・台南でも1度例会を開催する試みも実施されるのとこと、台北に限らずまた新たな台湾に滞在する関西大学卒業生と対面出来ることを今から心待ちにしている。

(吉本沙矢佳 = 平23外教、

skkx3.214.wish@gmail.com)

台湾OB会の歓待を受ける 総会日程など打ち合わせ

1月5日、台湾旅行に際し、台湾では旧正月前の慌ただしいなか、李銘坤会長はじめ台湾OB会7人の歓待を受けた。

李会長とは深いお付き合いがあるものの、会員の方々は校友会の海外研修でお会いした折もほとんど会話することもできず、この度は改めて挨拶もでき、また大変美味しい料理とお酒をもにしながら会話もすすみ、親交を深めることができた。2次会ではカラオケなどで大いに楽しみつつ、今年度の台湾OB会総会の日程や今後の予定などについて打ち合わせし、また留



學生に関する諸問題、国際部との連携などについても会員の方々それぞれとお話しすることもでき、非常に楽しくそして充実した懇親会となった。

なお、参加いただいた校友は以下のとおり。李銘坤会長(昭56学商)、大上進(昭47学法)、馬鴻文(昭57学商)、高啓智(平13M経)、李宜蓉(平4学商)、王宇倫(平22M社)、賀瀨瑤(平23M商)

(校友会事務局 奥田恵造)

JKT千里会(ジャカルタ)発足!

インドネシアに係わりの方はご連絡を

インドネシア・ジャカルタの駐在員が声をかけ合い、関西大学校友会「JKT千里会」を発足しました。現在会員17人となっております。

連絡先: 黒田 和孝

(平9学経済)

E-mail: yaping.office.id@gmail.com

会員の帰国送別会兼ね ゴルフコンペを開催

JKT千里会(足立和也会長)は2月16日、今村克氏(昭61学工)の帰国送別会を兼ね、TAKARA Golf Resortにてゴルフコンペを開催した。

足立会長以下7人がプレーし、優勝は羽口裕二氏(昭57学経)、今村氏はベスグロ賞を獲





得した。次回は、3月16日に同ゴルフ場にて開催を予定している。

7人参加し新年会開催 支部旗のお披露目も

サイゴン千里会（狩野浩二会長）は、1月2日にドラゴンホットボットで狩野会長以下7人が参加して新年会を開催した。昨年発足したサイゴン千里会は、年に数回の例会を催し、ゴ



ルフコンベンなども行いながら会合を重ね、この新年会が通算7回目の会合となる。昨年は本部からも訪問させていただき、サイゴン千里会からは本学の留学生フエアにもご協力いただくなど交流を深めている。

非常に楽しく温かい雰囲気にもまれたなかで会合をされており、新年会でも「じゃんけん大会」などで大いに盛り上がり、また、作成した支部旗のお披露目ともなり、会の充実発展、校友同士の結束を深められた。

常会場のレストランに 千里会旗を常に掲示へ

さらに、2月6日には第8回となるサイゴン千里会を開催した。

今回は、初参加の山中俊典氏（昭49学工）はじめ、狩野浩二会長、具志勉、上田英樹、吉崎淳人、志方智彦の計6人が参



集。

関西大学出身者の親交を深めると共に、日本・ベトナム国交40周年のこの節目の年に、当地に赴任している我々が、このベトナムの更なる経済発展に如何に貢献できるか？をテーマに熱い議論を交わし（……という話も出る事無く、いつもながらにワイワイと楽しい会合となった。

校友会から頂いた旗は、毎回会場としている日系レストランの「ドラゴンホットボット」(122-124 Ho Tung Ma Str. Ben Nghe Ward Dist.1, HCMC 電話08-3935-1001)に、星店長の好意で、店1階入口左上のいい場所に飾ってもらうことになった。関大OBの皆さま、ホーチミン市にお越しの際は是非お立ち寄りください！

（志方智彦）
ta@mitsubishicorp.com

阿倍野支部林氏も参加 気さくで楽しい新年会

2月7日に泰国千里会（中村良三会長）は、新年会を居酒屋「馬酔木」にて12人の参加を得て盛大に開催した。

今回は、阿倍野支部の林義夫氏にも参加いただき、「泰国千里会」は民間企業の方々ばかりで気さくで楽しい。また、年齢も70歳、30歳までいるので羨まし



いとの弁。植田裕昭氏の年季の入った口上で学歌、逍遙歌とともに歌い、林氏による「三、七拍子」で盛り上がり、大

国際派の校友たちが活躍する フランス「パリ関大大会」に参加して

フランスはパリで関大校友が集まる会がある！というビッグニュースが舞い込んできた。事実が判明したきっかけはパリの大学院に学ぶ森岡美晶さん（平17総情）が、「パリには他大学のOB会はあるが、関大のOB会があれば是非参加したい」という、校友会本部への連絡だった。

2月にパリ滞在を予定していた私は、パリ関大大会の世話係という（薛（せつ）善子さん（昭62社）に連絡をとったところ、メンバーに私の滞在時期に合わせて集まりましょうと声をかけてくだ

変思い出に残る新年会となりました。

なお、次回は3月1日（金）に夕食会を開催予定。商学部の大木清弘助教の訪泰に伴い、情報交換懇親会を行います。

また、恒例のゴルフコンペは、3月31日（第5日曜）に開催予定。「打倒関学」を胸に秘めながらも楽しくワイワイと行いたいと思います。奥様、友達もお誘い合わせの上お申し込みください。

（中村良三）
幹事・安楽成司 = anrakusssch.com

さった。日時も場所も決まり、10人もの参加があると聞いて、嬉しい悲鳴を上げた。機関紙「関大」をはじめ、関西大学の各種グッズをトランクいっぱい詰めてパリに飛んだ。

事前に、校友で関西大学理事、元朝日放送社長の西村嘉郎さん（昭35文2）に無理をお願いして、当日2月6日の夕方にパリ在住の校友とともに朝日放送パリ支局を見学させていただくことにした。エッフェル塔が真正面に見え、凱旋門まで華やかなシャンゼリゼ通りを見下ろす素晴らしい眺めを満喫し、業



た。松本さんは焼肉店も経営していた。先日は桂文枝さんもそちらを訪れたそう。野球部の先輩に呼ばれて卒業後すぐパリに渡ったという。

日本人離れた雰囲気、紳士は山口清治さん(昭46法)。長年仕事でパリ在住、悠々自適の優雅な暮らし。世話役の薛さんは娘さんと参加。翻訳業を営み現在のパリ開大会をとりまとめる活動的な女性で、校友会本部との連絡の要となる女性だ。

ポर्ट部でいっしょだった女性メンバー2人も初めて参加した。堂崎真紀さん(平9社)は現在フランスの大手銀行に勤めている。辻本和加子さん(平9法)はパリ近郊に在住で不動産会社に勤務。父親も関大卒という関大ファミリーである。日本の総合スポーツ用品メーカーのパリ支店長、中井直さん(平3商)は多忙中、駆けつけてくれた。ロンドンで6年勤務後パリに。海外生活が長い国際派ビジネスマンだ。

村口照夫さん(昭48法)は商業物件や住宅を扱う不動産

務内容などについてお話を伺った。

6月には校友の落語家桂文枝さんが司会を務める同局の人気番組の収録がパリで行われるとのことで、そのポスターを預かり、参加者募集にパリ開大会が一役買うことになった。

10人が校友の店で歓談

そのあと、みなさんが集まる店へ。メンバーで飲食業を営む松本三夫さん(昭54商2)がオペラ座近くにオープンしたばかりのレストランノワインバーだっ

た。松本さんは焼肉店も経営していた。先日は桂文枝さんもそちらを訪れたそう。野球部の先輩に呼ばれて卒業後すぐパリに渡ったという。

日本人離れた雰囲気、紳士は山口清治さん(昭46法)。長年仕事でパリ在住、悠々自適の優雅な暮らし。世話役の薛さんは娘さんと参加。翻訳業を営み現在のパリ開大会をとりまとめる活動的な女性で、校友会本部との連絡の要となる女性だ。

ポर्ट部でいっしょだった女性メンバー2人も初めて参加した。堂崎真紀さん(平9社)は現在フランスの大手銀行に勤めている。辻本和加子さん(平9法)はパリ近郊に在住で不動産会社に勤務。父親も関大卒という関大ファミリーである。日本の総合スポーツ用品メーカーのパリ支店長、中井直さん(平3商)は多忙中、駆けつけてくれた。ロンドンで6年勤務後パリに。海外生活が長い国際派ビジネスマンだ。

村口照夫さん(昭48法)は商業物件や住宅を扱う不動産

業をはじめ、ユニークなアイデアで食糧品関係でも手広く事業を展開。オペラ近くのパッサージュを日本人街にと企画中とか。旅行代理店勤務の丸山紀子さん(昭55商)とは仕事関係で連携している。丸山さんは添乗員でパリに度々来ていて、ついに住みついてしまったという。

以上、校友9人が参加する賑やかな会となった。まさかパリで関大の学歌を聴くとは思わなかったが、お店でCDを流してもらい、みんなでくちずさんだ。残念ながら参加できなかった建築家、祖川健さん(平20工)は美術館の改修など、フランスの様々な建築プロジェクトに携わる活躍ぶり。



紡ぎ続けられる関大の輪

1990年代から10年前ころまでは起業家をはじめ、商社、ファッション業界、航空会社駐在員のOBを中心に集まり、華やかな活動を展開していたそう。現在のパリ開大会で一番の先輩格である石井襄さん(昭44法)は、当時のメンバーから帰国者が出たあとに関大のOB会を精力的に牽引してきた。

様々な理由や状況でパリに住む校友が1年に何度か集まって、異国に住む仲間同士、貴重な情報を交換し助け合い、確かなつながっている。強い関大の象徴がアジアだけではなく、ヨーロッパにもあった。国際的に活躍し世界に羽ばたく校友たちとつながっているというのは、なんと誇らしく嬉しいことだろう。

今後、パリでの滞在、観光、ビジネスなど多方面で、本国日本の校友とも交流していけたら理想的だ。関大からフランスの大学等に留学する学生や関大に留学生として学んだフランス人も加われば、さらに活性化するにちがいない。パリ開大会の今後益々の発展を願ってやまない。

(広報部 山本淑子)

(パリ開大会連絡先・Yoshiko Setsu = setsu.yoshiko@gmail.com)

お母さまへ

**主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。**

高槻の隣り町 島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくてはならない水——
タブチは、安全で快適な
給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています

ホームページは [タブチ](#)

給水用具の設計・開発・製造 〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
株式会社 タブチ TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210

九州地区支部連合会が「若手・女性リーダー研修会」を開催 各支部とも早急に若手会を組織し、更なる活性化へ取り組み

九州地区支部連合会(花田正利会長)では、1月19日に福岡市「平和楼天神本店」で若手・女性リーダー研修会を開催した。

テーマの「平成卒校友・女性校友を支部活動(部会・総会・懇親会)へ誘引し、次世代のリーダーづくりを如何にするか」を議論するために、校友会から渡邊組織部長、奥田事務局課長を九州・山口各支部(会)から若手中心に21人(うち女性5人)が参加して、約4時間近く活



発な意見交換が行われた。

各支部(会)が年1〜2回開催する総会、懇親会への出席者が、ここ4〜5年伸び悩んでいることが共通した課題であり、その主因は、校友数の過半数を占める平成卒校友および2割弱の女性校友たちの出席が少ないことであるが、これらの若手(青年・女性)を支部運営活動へ誘引するために、若手部会を結成して始動した福岡、北九州が徐々に出席者が増加傾向に転じた対策、事例を聞き、討論をすすめた。

各支部(会)から、若手に対する現状と今後の対応等の報告を受けたが、殆ど未着手であり、今後の課題となった。その後の自由討論では、建設的な意見が多数提案された。

なかでも、次世代のリーダーとなるであろう平成卒校友を早期に活動へ引き込み、関心を深めさせるためには、これら若手(青年)・女性を中核とした実働部隊を支部(会)幹事に選任し、新感覚での支部(部会)行事、魅力ある総会づくりを任せて実行させること、また、こつとした新しい組織への転換を考える時機が来ており、

九州地区各支部(会)は、早急に若手部会を組織して活性化を図り、支部活動の充実へ向けてスタートすることとした。

研修会終了後、福岡千里会恒例の新年懇親会へ全員が合流し、親交・交流を深めることができた。なお、研修会での討議内容については、以下、校友会事務局・奥田課長のまとめを参照いただきたい。

(花田正利)

研修会出席者

福岡千里会 幹事・杉田智穂(平2文)、幹事・坂崎公一(平5法)、幹事・馬渡祐輔(平9商)、幹事・中村美里(平13社)、幹事・黒木慎一(平14商) 北九州支部 支部長・今井明美(昭56法)、幹事長・西原正人(昭53経)、井上琢朗(平20総) 佐賀千里会 会長・山口正文(昭45法)、幹事長・松永久光(昭50経)、幹事・山内雅文(昭63法) 熊本県支部 幹事・益田啓史(平3文)、宇戸口成美(平24経)、緒方佐紀(平24経) 大分千里会 事務局長・山田和嘉(昭51経) 宮崎千里会 会長・前村幸夫(昭50商) 沖縄支部 支部長・大

坪慎治(昭47工) 山口千里会 会長・藤井宏紀(昭39法)、松本直樹(平4M商)、北川加寿美(平2文)、山県昇亮(平23総)

若手・女性リーダー研修会開催にあたって

40万校友を繋ぐ絆である校友会の存在は、全国の支部・千里会・職域での組織で構成されており、なかなか、その地域は昭和卒・平成卒の男女校友が支えています。私たち母校から遠く離れた九州・沖縄の地において、5926人の校友が9支部に在住しています。

これらは各支部の先輩校友の先導により引き継がれてきた、校友との懇親を図るための総会・忘新年会等を通じてのみ連携が保たれている訳ですが、この組織は母校在る限り、連綿と引き継がれていかねばなりません。

九州・沖縄県支部は、かつてはバラバラであつた活動もここ数年のうちに、大なり小なり各々が独立し、創意工夫を凝らして毎年校友懇親の場を演出してきました。また、各支部間の交流も、17年目となる九州地区支部対抗ゴルフ大会や支部総会への交互出席等により定着してきました。しかし、過去5年間の各支

校友会本部 組織部長・渡邊泰之、事務局課長・奥田恵造 連合会 会長・花田正利、副会長・白木成光、副会長・野々口瑞穂

部総会・懇親会への校友出席状況を見ますと、反省すべき点が多々あります。

その1は、出席者数が伸び悩み、如何にすれば増やせるか。その2は、演出(総会のやり方の工夫)のマンネリ化を防ぐための新しい智慧が必要。その3は、平成卒・女子校友の出席者が少なく如何にして増やすか。その4は、次世代・次々世代へ引き継ぐための若手リーダー・女子リーダーの養成が必要。

前記4項目については、各支部から報告された過去5年間の校友出席状態の通りですが、在住校友数の過半数(55%)を占める平成卒および女子校友(18%)の出席者が少ないということです。つまり、各支部の校友出席者数のうち、平成卒で約30%、女子校友で約10%であり、今後増え続ける平成卒生と女子校友のギャップこそが出席者を増やすキーポイントであることが共通項です。

平成卒生も、もはや47歳を

支部登録校友数・総会出席校友数の状況

頂点に組織の中核を担う位置にあり、これらが次代、次々の主役となつてもらう必要がありまふ。この方たちが、支部活動に参画して力を發揮してくれるような環境づくりを行うにはどうすればよいからまた参画し易い雰囲気づくりをどうするか考えねばなりませ

その手始めとして、今回の研修会では、若手および女子校友の方たちが支部の枠を越えて自由闊達に意見交換を行い、支部活性化のための新しい智慧を提供してください。そして、支部に帰られたならば、早速に支部長・会長にこの研修会の成果を報告し、今後の対処方法を検討し、支部

若手・女子のリーダーとなつて参画し、組織へ新しい息吹を吹き込んで活躍されることを期待します。

事前アンケートおよび各支部からの主な意見（抜粋）

1 現状把握

1 若手（昭和60年～平成卒）および女子での組織的な活動中の部会がある（若手会・飲会・情報交換会・ゲーム会等）支部はという組織で、どのような活動を行い、どのような成果を挙げたか。また、各部会での運営上で起きた悩み、問題点とその改善策について

【福岡】「若手会」として主に花見、忘年会を中心として20～30人の参加を得て活動している。平成卒業生（男10人、女2人）をメンバーに個別の懇親会、総会でのサポートを行っている。イベントの連絡は主にフェイスブックを活用し、携帯電話でのフォローも

行っている。会費はなるべく参加し易いよう安価を心がけている。

【北九州】「青年・女性部会」として年に3～4回程度の定例会合（会食を中心に）総会の運営補助を行っている。参加メンバーは男13人、女11人（実績）で、出席平均は10人程度。連絡は幹事役がメンバ

ーに「メーリングリスト」からのEメール、フェイスブックを活用し、新規メンバーにはEメール、電話、ハガキで対応している。運営費用としては会合にかかる費用のみを参加者から徴収しているが、ほかに支部からの補助や先輩からの寄附もいただいており、事務通信費や会合費補助に充てている。年間4回の会合を目標としており、今後はこの会合の定例化をはかりたい。

問題点としては、運営メンバーが偏りがちになり、会合の内容企画のマンネリ化が懸念される。また、名簿上の校友人数と実際の在住校友数が異なり、また、総会初参加者に対するその後のフォローも

不十分なため、メンバーの発掘がうまく機能できていないことが挙げられる。今後は、会合計画時に担当者を決めて企画立案するところからすめ、また校友の拡充のためにもメンバーで分担して電話調査するなど実施していきたい。

2 支部ホームページの開設の有無と利用状況および効果、また、Eメールでの連絡案内やフェイスブックなどSNSの活用状況とその効果について

【福岡】福岡千里会ブログを立ち上げ情報提供している。イベント等はEメールを活用

して連絡案内しており、またフェイスブックでは校友をグループ化し、そのなかで情報共有ならびにイベント立てを行い告知している。利便性は良いと捉えている。

【北九州】幹事会などの会合案内には一部Eメールを利用している。支部全体としてはフェイスブックを利用してないが、青年・女性部会ではグループ化して活用している。

【宮崎】支部としてフェイスブックを活用しており、若手校友との交流が図れるようになり、若手校友の参加が増えた。

【熊本県】Eメールは、文書や画像等の情報を瞬時かつ大量に送信可能であり、しかも、操作の容易さと情報の記録性があることから、幹事同士の連絡に活用している。今後は、会員の連絡にも活用していきたい。

一方で、過去に手書きによるハガキを出したことがあり、少しではあるが効果を得た。近年の連絡案内の利便性も踏まえつつ、フェイスブック、ハガキなども併せて、顔の見える対応も心がけていきたいと考える。

2 若手および女子を中心とした部会の創設、また



部会を今後より一層活性化
するための今後の対策につ
いて

【福岡】幹部リーダーの承
継をはかり、昭和卒から平成
卒へバトンタッチしていくと
もに、平成卒メンバーを中心
として、時代やニーズ、気質
に合った運営を行っていく

また、SNS等を有効に活
用して広報宣伝活動に取り組
んでいく

【北九州】青年・女性部会
の活性化のためにも、継続し
て活動の核となる人材を発掘

し育成していく。併せて「会
合にまた来たい」と思わせる
よう企画内容を充実させる。

また、経済的視点から部会へ
の予算配分など支援策を講じ
てほしい。

【佐賀】幹事の固定化、高
齢化は今後の運営において問
題となっているが、若手にバ
トンタッチする過渡期におい
て、今後中心となってくれる
であろう校友もいるので、2、
3年かけて育成していきたい
と考えている。若手校友が経
営のお店があり、それをひと
つの拠点として、若手校友主
体の「会員の集い」を計画し
ている。

【熊本県】この数年で若手
会および女子会を組織したい
と考えている。その対策とし
て、若手会員の獲得に力を入
れており、昨年から平成卒を
中心とした忘年会を開催する
とともに、5月頃には、新卒
者歓迎会を開催予定している

3 支部運営および本部 に対する若手校友からの提 言、ほか自由意見交換。

【福岡】OB会活動におけ
る目的は人それぞれが違って
当然であり、各自得るものが
違って良い。関大卒という共
通項で「人と人がつながる」
ことが肝要である。

皆が参加し易い会費の設定
が必要である。また、役員の
役割負担軽減のためにも、世
代代表の幹事の選出、運営を
はかる必要がある。

平成卒・女性校友の底上げ
を考えるならば、平成卒業生
の役員登用はじめ、施策立案
実行などに権限と責任を与え
ボトムアップできる体制を整
えるべきである。

活動においては、世代を超
えての共通項が必要で、ボラ
ンティア活動や「福岡と大阪
をつなぐ」をキーワードに博多
どんたくへの参加など検討し
たい。

「関西大学」が、テレビ、新
聞や雑誌に掲載されることは、
校友の母校愛を高揚させる。
支部としても関西大学への認
知拡大をはかりたい。新聞広
告等を利用した校友会活動の
広報（一般市民）、関西系企業
への校友会活動PR（転勤
者）、ソーシャルメディアの利
用、出身高校へのPR（若手）
など。

支部の運営には、財政的な
問題が伴う。年会費やその他
方法による収入施策を検討す
る必要があるが、将来に向け
て準備（留保）も必要との意見
もある。また、校友会本部か
ら助成費をいただいているが、
支部の活動や参加人数、規模

などを考慮した制度の改正を
お願いしたい。

「総会」という名称が敷居を
高くしているのではないかと。
「ホームカミングデー」「校友
の集い」「同窓会」など名称を
検討するのをもひとつの方策で
はないか。

【北九州】旧態依然の運用
では、若手校友はついてこな
ない。何か「面白い」「楽しい」
「メリットがある」と感じさせ
ないと定着しない。一度覗き
に来た人の心を捉えなければ
ならない。

北九州地域にどれだけの校
友がいるのが正確に把握でき
ない。転出者情報など本部と
支部、あるいは支部間での情
報のやりとりができないか。ま
た、官公庁に勤務する校友な
ど職域関係を取り込んでいき
たいが、校友の就職先情報な
ど入手することはできないか。
将来的に北九州地域での他大
学OBとの交流やネットワー
クができないか。

【佐賀】まずは総会への参
加者数を増やし、若手だけで
の「飲み会」など企画してい
きたい。そのために、佐賀千
里会レポートを定期発刊し、
校友への広報宣伝活動をした
い。

【熊本県】大学時代に、関
大に誇りを持てる経験をして

きたかによって、校友会活動
への参加のモチベーションが
違ってくると思う。参加しな
い校友にとっては、もし参加
しても、その差を感じておもし
ろくないと感じる人もいると
思う。参加することによるメ
リットを実感し得る方法や施
策を、若手校友とともに今後
に向けて検討したい。

学生時代はもとより、卒業
しても「校友会」という存在自
体知らない者が多い。学生時
代から、或いは卒業時にでも
「校友会」「支部」を周知する
啓蒙活動が必要だ。

支部総会案内を若手校友が
手書き、或いはデザインする
など、参加募集を若手校友が
行っているところ。

【大分】「ヤル気」のある若
手校友の目に留まれば、校
友会活動のPRを継続して行
っている。総会および新年会
の案内、個々人の声かけ、機
関紙への投稿はもちろん、地
元新聞への投稿や、総会の記
念写真を出席者のみならず、
年会費振込者にも報告旁々送
付している。

【宮崎】メンバーが固定化
しており、新メンバーを増や
す工夫が必要。大学本部から
も若手校友への魅力ある情報
提供を願いたい。

日常の仕事に活かすことが

できる人脈づくりを目的とした会員の出席率が高い。このようなニーズに対応できれば出席率が増加すると思われる。

【沖縄】沖縄特有の「模合（もあい）」といった会合を若手校友に持つよう提唱している。それにより、毎月1回の集まりがあり、その場に先輩もゲスト参加して親睦が図れるのではないかと考えている。

興南高校の現役教師の校友が総会に参加してくれ、今後は同校卒業の関大校友にも声掛けすること。平成卒の校友の総会参加が増えることを期待している。

本部として、平成卒の校友を対象とした校友会活動を推進できないか。

【山口】広く参加者を増やすことも重要であると同時に、総会に参加してくれた校友がまた参加してくれる、つまりリピーターを増やす対策が肝心である。

フェイスブックなどSNSでの広報活動も大事であるが、平日頃から「関大」をアピールするよう心掛け、男性ならばネクタイ、ネクタイピンなど「関大」のものを身につけるなど、役員はじめ会員自身がPRする。

各地元のお店や施設などで、関大卒ならではの特典機能

つけることはできないか。

【校友会本部に対する意見】

- ・大学のニュースがテレビや雑誌に掲載されることは母校愛を醸成する大きな要素である。

- ・機関紙「関大」に校友が経営するお店などを紹介して、特典やサービスなど付加価値をつけることができないか。

- ・学生のうちから「校友会」の存在を認知させてほしい。学生が日常に目にする場所やインフォメーションなどに支部総会の日程など告知することはできないか。

- ・卒業生に「支部一覧」などを配布してほしい。

- ・帰属意識を高めるためにも校友カード（会員証）を作成できないか。

- ・教育後援会との連携をさらに充実発展させてほしい。

- ・「支部助成」を実態に則したものとなるよう制度の見直しを検討してほしい。

- ・校友会会費制度について、まだまだ知らない校友が多く周知徹底してほしい。

- ・校友会作製のカレンダーを新入生だけでなく、卒業生にも配布すればどうか。また、校友もカレンダーを希望するが、ホームページでダウンロードできるように配慮してほしい。

会 催 し

掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先・電話番号）の順。

【本部関係】

2013スプリングフェスティバル 4月7日(日) 10:00 千里山キャンパス
第29回支部対抗親睦ゴルフ大会 5月14日(火) 7:00 天野山カントリークラブ
第101回定時代議員会 6月8日(土) 13:00 100周年記念会館
平成25年度全国組織代表者会議 7月13日(土) 13:00 100周年記念会館
天神祭船渡御・奉拝船「関大丸」就航 7月25日(木) 17:00 大川
平成25年度校友総会 10月20日(日) 12:30 BIGホール100
平成26年校友会新年互礼会 26年1月15日(水) 18:00 大阪新阪急ホテル
第102回定時代議員会 3月29日(土) 13:00 100周年記念会館

【地域支部】

泰国千里会ゴルフコンペ 3月31日(日) バンコク(安楽成司 = anraku@ssscth.com)
芦屋支部地域連携事業(芦屋さくらまつり) 4月6日(土) 11:00 (依藤健史 = 0797-23-7004)
鹿児島千里会万世特攻慰霊碑慰霊祭参列 4月14日(日) 南さつま市=10:00 鹿児島中央駅西口発無料バス運行、広く参加可(時任博幸 = 090-4581-7092)
神戸支部親睦ゴルフ大会 4月17日(水) 7:15 オリムピックゴルフ倶楽部(参加費3,000円 + プレー費12,030円。Kuaakobe1956@gmail.com)
西成支部総会 5月19日(日) 17:00 宗右衛門町・ホテルメトロTHE21(6,000円、初参加者と女性3,000円。年会費3,000円、初参加者免除。花岡宏 = 06-6661-5506)
名張支部総会 5月25日(土) 10:00 アスピア(若山東男 = 0595-65-3030)
和泉支部総会「いづみ関大の日」 6月1日(土) 11:30 南海泉大津駅すぐ・ホテルレイクアルスター(7,000円、女性と平成卒5,000円。山本邦夫 = 0725-707-2761)

関大台湾OB会総会 6月14日(金) 10:00 台北(李銘坤)
八尾支部総会 6月16日(日) 10:30 八尾文化会館・プリズムホール(中尾達夫 = 072-998-3526)
北支部総会 6月21日(金) 18:00 ハービス大阪6階・ガーデンシティプラザ大阪(市田利夫司法書士事務所 = 06-6375-1336)
鶴見・都島支部合同総会 6月22日(土) 17:00 大阪キャッスルホテル3階・錦城閣(10,000円。鶴見・迫 匡 = 06-6961-7363、都島・香西安勝 = 06-6922-4862)
神戸支部総会 6月28日(金) 18:30 神戸市・生田神社会館(10,000円。Kuaakobe1956@gmail.com)
堺支部総会 6月29日(土) 16:00 ホテル・アゴーラ リージエンシー堺(鍋島均 = 072-284-1412)
石川県支部総会 7月13日(土) 18:00 金沢エクセルホテル東急(岡野茂 = 0767-28-3508)
岡山支部総会 7月13日(土) 18:00 アークホテル(ユアーズコンサルティング = 086-250-5592)
香川支部総会 7月27日(土) 時間・場所未定(金星タクシ-・川崎有二 = 087-821-7070)
北九州支部50周年記念総会 7月27日(土) 時間・場所未定(西原正人 = 093-771-5209)

【職域会ほか団体】

大阪府庁秀麗会総会 3月25日(月) 18:30 場所未定(危機管理室保安対策課・尾川文彦 = 06-6941-0351)
体育OB・OG会総会 3月29日(金) 18:00 リーガロイヤルホテル(近藤正昭 = 06-6935-5545)
福法会(法学部・福永有光ゼミOB会) 4月7日(日) 13:00 JR大阪駅・ホテルグランヴィア大阪(1万円。田中久雄 = 0742-45-7894)
大阪国税秀麗会総会 4月19日(金) 19:00 東天紅天満橋OMM店(仲野純一 = 072-726-6164)
グリークラブOB総会 5月26日(日) 12:00 校友会会議室(塔筋浩司 = 090-1024-9066)
司法書士関大会合格祝賀会 6月29日(土) 18:00 大阪キャッスルホテル(中村博司法書士事務所 = 06-6705-5678)

北から 南から

《各地支部だより》

「いちやれば、ちよーでー」精神で

若手校友を役員に支部活性化を図る

沖縄支部（大坪慎治支部長）の24年度総会が、那覇市の沖縄ホテルで11月16日に開催された。校友会本部の田中副会長はじめ西原北九州支部幹事長、沖縄支部運営を支援頂いている白木福岡千里会会長らに参加頂き、総勢20人の参加者で総会と引き続き開催された懇親会で交流を図ることができた。

田中副会長や奥田事務局課長からは、大学の現状などをお話しいただき、参加者一同は遠くの母校への愛校心を温めた。



今回の総会では役員の改選が行われ、大坪新支部長の下、3人の新任役員を含む8人の役員が承認された。今回3人の新たな役員が加わり、パワーアップが図れたが、今後はさらに若手の校友に声をかけ、今後の役員陣の充実を図り、「いちやれば、ちよーでー」（一度出会えば、皆兄弟）という土地柄を生かし校友同士つながりを強め、豊かな人脈づくりを進めていく。

（幹事 根橋弘行）
（大坪慎治＝098－898－4933）

支部活性化の草案を
新年会で満場一致承認

今年の北海道支部（松本陽一支部長）の新年会は、単なる新年会ではなかった。

昨秋、支部役員が集まって変革会議が開催され、そこで草案された内容を承認して頂く会になったからだ。道内に400人以上在住されている関大OBの



皆さまを1人でも多く支部に入会していただくために、イベント部会（ゴルフやパークゴルフ）とゼネレーション部会（ジュニア・ミドル・シニア）の縦・横を融合させて活性化させ、入会の促進を図って行くというもの。

総合司会が、この件に深く関与された下地章二幹事長（41商）により、進められ、冒頭で以上の草案を満場一致で承認した。次いで、松本支部長（38経）の軽妙な挨拶の後、草案作成に中心的役割を果たされた増井千代一氏（48商）の乾杯の発声で宴が始まった。

出席者は、昭和32年法卒の曾野和明氏より平成11年文卒の山際大介氏まで年次差42年におよぶゼネレーション（ジュニア・ミドル・シニア）が25人集った。

（松本陽一＝011－778－）
（広報担当 大坊健一）

6760

金融機関勤務校友が舌戦
7月13日の総会で再会を

岡山支部（行本章允支部長）恒例の新年会を1月19日、岡山市内のホテルで開催した。

新年会には例年なら70人前後の参加者があるが、56回目を数える今回は56人だった。しかし新年会は女子秀麗会からの参加もあり、校友落語家林家染太さんの落語と切り絵を楽しんだほか、校友のフリートークで大いに盛り上がった。

特にフリートークでは、地元の地銀中国銀行からOBを含めて10人が参加し、代表して三宅勇二氏（58商・本店金融営業部長）が、中国銀行には校友が150人近くおり、7月の総会には中国銀行校友が大挙して参加したいと氣勢を上げれば、やはり地元第二地銀のトマト銀行の加戸義和校友（50社・常務）が、トマト銀行にも40人の校友がいる。総会には中国銀行に負けないよう多くの校友の参加を実現したいと応じた。

さらに、おかやま信用金庫本部営業支援課長の寺尾通宏氏（56社）も、今、内山下支店では、安藤忠雄氏設計による全面改築が進んでいる」とアピールし、地元金融機関勤務校友のトークバトルが展開された。（行本章允）



『革新幻想の戦後史』講演
竹内洋氏が新年会で

神奈川支部（重延義樹支部長）は、25年総会（New Year Press）を1月26日、今年も眼下に港を望む「東天紅」横浜店で開催した。

竹内洋東京センター長をはじめ、来賓を含め55人が参加。第1部総会は、学歌斉唱で幕を開け、竹内氏が学校の近況を、重延支部長が散策の会、ゴルフ同好会、カラオケ同好会、山歩き会、新たに発足の囲碁の会など、益々盛んな同好会活動の様子を報告。

第2部は竹内洋氏が講演。関西大学名誉教授、京都大学名誉教授であり、第13回読売・吉野作造賞を受賞された氏が、「私の人生物語…近著『革新幻

「こんな道が大好き！」

金太郎縁の金時山を踏破

神奈川支部の同好会、山歩きの会」は、10月13日に第3回

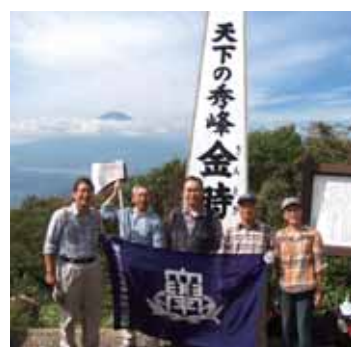


想の戦後史』の周辺」というタイトルで、一見難しそうな内容を自身の生い立ちやユーモアも交え、わかりやすく話された。

第3部懇親会は、美味しい中国料理に舌鼓をうち、PRコーナー、新人紹介、テレビや高級腕時計などを用意したビンゴゲームなどで大いに盛り上がった。谷口正明最高顧問の中締めの際には、明治大学応援団OB山本英隆氏（故山本昇氏）と子息との感動的なエール交換も飛び出した。（広報担当 田中潤一）（ダイケイ＝050－1063－9660）

「金時山登山」を開催した

金時山は箱根外輪山の最高峰で、年間11万8千人に登る人気の山。初参加者2人を含む5人は、まず金時神社で安全登山を祈願。2ヶ所ある岩ゴロ急登の難所をクリアして山頂に立つと、



山頂は座る場所もないほど混雑していた。西北西には白雲の腹巻きをした霊峰富士山がそびえ立ち、南には神山と芦ノ湖、遠くに天城山が見えた。

下山路では左手に明神ヶ岳、正面に大涌谷の白い噴煙が見えた。途中から緩斜面のハコネザサの道に変わり、「こんな道が大好き！」とメンバーの一人が声をあげた。

下山後、「勘太郎の湯」で入浴と反省会を行った。（代表世話役 小谷正廣・47商）

総勢28人で野島公園散策 昼食会場で囲碁創部など

神奈川支部散策の会では11月23日、2組のご夫婦を含む総勢28人で横浜市金沢区にある野島



公園を散策した。

当日は、金沢八景駅に集合した時はかなり大降りだったが、次第に小降りになり、最後はすっきり上がった。

海岸沿いの見事な松林や横浜唯一の自然海浜を歩いたあと展望台へ。あいにくのお天気で眺望を充分楽しむことができず非常に心残りであった。旧伊藤博文金沢別邸では、内部もゆくり見学できて、維新から明治にかけての偉人の功績をあらためて偲ぶことができた。

昼食会場では、東京支部から小林寿子校友と千葉支部から青山誠校友を迎えて宴も盛り上がり、小谷正廣氏から囲碁同好会創部の話が出ると、その場でたちまち将棋同好会と麻雀同好会も出来てしまつ嬉しい誤算もあった。（世話役 藤原ひで子・48法）

天気と健康について講演 ライフウェザー社石川氏

千葉支部（神田万久支部長＝45工）の25年新春総会は2月2日、田中義昭副会長、竹内洋東京センター長、近隣支部代表らを迎え、総勢45人の出席の下、市川グランドホテルで開催された。

第1部総会では、神田支部長から1年間の活動報告があり、同好会活動に新たに「千葉を食べ歩く会（グルメの会）」を立ち上げ、銚子港に行ったこと等が報告された。

また、竹内センター長からは、高校生化した学生気質というものを興味と驚きをもってお聞かせいただいた。

次いで役員改選の報告がなされ、ほぼ全員の留任が承認された。更に会計報告・会計監査報告を承認の後、同好会活動の報告が行われた。



第2部は、ライフウェザー社代表取締役の石川勝敏氏（41法）による講演会。題して「天気を味方にして健康になる方法」。石川氏は今をときめくウェザーニューズ社、創設者の一人で「天気予報とコンビニ」理論を世に出し、「生気象学」の第一人者として知られ、講演では「日本人のからだの機能と現代の生活」について、時間が押し迫る中、解りやすく解説いただいた。

お待ちかねの懇親会、最年長出席者・木原國夫氏（31商）の発声による乾杯となった。盛り上がりつつ、初参加者の自己紹介があり、卒業後54年にして初参加の上田実氏（34法）ら3人が紹介された。

最高潮になった所でくじ引きに入り、会場はますます賑やかになる一方、空くじなしなので全員何となくにつこり…。

松岡寛校友（34文）からエールをいただき、逍遙歌を大熱唱し、懇親会はお開きとなった。

と言つてもここで終われるはずもなく2次会、3次会、はまた家庭料理店「舞堵（まいど）」（店主、坂本行秀校友・昭41法）へ繰り出しとなり、更に親睦を深めた。

（広報担当 豊田稔・昭45工）（神田万久＝047－354－2091）

初参加者9人舞台で一声 情報交換と親交深める

愛知支部（森田敏二三支部長）忘年会が、12月13日にホテルサンルートプラザ名古屋で開催された。今回は、市橋正之事務局長（36商）の尽力により、過去3年間の総会忘年会の参加者、9月に開催された支部創立100周年記念総会の参加者・寄付金・記念誌広告・名刺広告に協力頂いた校友をピックアップして140人の方に往復はがきにて案内をしたところ、29人の参加があり、その内9人が初参加者だった。

森田支部長の挨拶の後、塗木桂子組織委員長（41文）の乾杯の首頭で宴に入り、お互いにテールプルを行き来しながら名刺、情報交換と親交を深め合った。今回は初参加者が9人と多く舞台の上で一人ずつ一声頂いた。

その後、カラオケを楽しみ、最後に全員肩を組み道遠歌を合唱。杉本秋男氏（48M商）の締め、西川正総務委員長（45経）の閉会の挨拶で散会となった。

今回の初参加者の諸氏は次の通り（敬称略）。鴉輝己（昭46工）杉藤一夫（昭48経）岡田省三（昭49経・丸愛麻工（株）代表取締役）田中知（昭59・HRM社会保険労務士田中事務所）南出雅久（昭63工・名古屋航



空宇宙システム製作所主席技師）森篤志（平2文・（株）高千代熱学社専務取締役）伊藤智成（平5工・（株）東興不動産代表取締役）斉藤隆宏（平12社）蜂須賀俊人（平12情・司法書士事務所代表）飯尾喜建（平12文・積水ハウス名古屋東支店店長）（幹事長 原勝也）

（知多工業・森田敏二三＝0562-335822）

青春過ごした母校に誇り 34人参加で盛大に総会

24年度島根県支部松江千里会 岸宏会長（総会が2月16日、松江市千鳥町「ホテル白鳥」にて本部より田中義昭副会長・谷康司組織副部長のご隣席のもと34人の参加で盛大に開催された。

学歌斉唱で始まり、岸会長（41経）の挨拶後、田中副会長から関西大学の現況、そして校

友会の活動等詳細に話していただき、出席者一同改めて母校・関西大学に青春を過ごせたことを誇りに思った。

その後、桑原副会長（42経）の乾杯で宴に入り、なごやかかつ愉快に進み全員で道遠歌を歌い、福原先輩（41年経）の万歳で無事終了した。

（幹事長 大西弘悦）
（大西弘悦＝0852-231081）

平成卒が役員の3分の1 よし笛演奏で盛り上げる

滋賀支部（今井清支部長）の25年総会・賀詞交換会が1月27日、JR守山駅東口前のライズヴィル都賀山で開催された。

第1部総会で、今井支部長は開会挨拶で、我々の生活を取り巻く不安、難問、課題を乗り切るには、校友という絆と関大スピリットであるうたとアピール。

支部事業の重点は、若手校友（平成卒）向けの交流会の開催、平成26年に支部再発足30周年事業を挙行、13市で地域交流会を開こう等だと述べた。

田中副会長から挨拶をいたして議事に移り、24年度事業報告、決算報告、25年度事業計画、収支予算案が全て承認された。また、今回は役員改選もあり、平成卒が全役員39人中3分の1を占め、若返りが図られた。

第2部のアトラクションは、地元で活躍されている、「守山琵琶湖よし笛アンサンブル」による演奏で、まず、よし原の映像を映しながら「早春賦」や初め四季の歌の演奏があり、後半は「涙そうそう」、NHKの震災復興応援歌「花は咲く」等、最後に「琵琶湖周航の歌」を全員で大合唱し、大いに盛り上がった。

第3部の懇親会は、牧村京都



支部長の挨拶に続いて、本年の年男である吉仲秀明氏（51商）の乾杯挨拶で開宴した。宴はけなわとなったところで、恒例の大抽選会である。今回の金賞は防災グッズであり、当選者からこれで備えが万全との声が上がった。最後に高木章第70代応援団長（平6商）のリードで、道遠歌を合唱し、お開きとなった。

（広報部会 奥村晴男）
（佃司法書士事務所＝077-522-2961）

洛西ブロック懇親会開催 防衛学校について講演

満山紅葉の12月1日、嵐山「渡月亭」本館（碧川閣）で24年度京都支部（牧村史朗支部長）第20回洛西ブロック懇親会が32人参加のもと開催された。

20回を記念して洛西在住、中井英夫副支部長（38工）のミニ講演があり、将来の日本国を担う防衛学校の学生たちの学習、研鑽ぶりをリアルに語り、領土問題に揺れる昨今、ジャストインな内容を聴講した。牧村支部長の開会の挨拶後、引き続き恒例の酒田清光顧問（28経）の力強い乾杯の首頭で懇親会が始まった。

美味しい懐石料理と渡月亭のオーナー古川隆三校友（30文）による銘酒の差し入れと相俟って宴会は益々盛り上がった。



中締めのお頭を一ノ瀬隆一副支部長(35経)にお願いし、宴会は盛会裏にお開きとなった。

今回、初の昼間の開催となったのは、多分、年齢を配慮されたの試みであろう。大変有難かった。平成の卒業生(最年少は平12卒)も3人参加してくれて、これから徐々に増えていけば、さらに活性化が図れるものと思う。(福田 昭・34学経)
(大西康治) 075-691-3513

恒例「牡丹鍋」を楽しむ リタイア校友の受皿担う

24年度猪名川支部(大西経二支部長)総会は、1月19日に町内の料理旅館「まんか」で開催された。本部の古川好夫副会長、近隣支部の支部長など来賓12人出席頂き、支部からは14人が参加した。

総会終了後の会食は、恒例となっている「牡丹鍋」で、和気あ



いあいの雰囲気の中、参会者の自己紹介に始まり、ゲームでの賞品獲得競争など極めて楽しいひと時となった。ゲームの景品は、花や野菜など、猪名川町の特性を生かしたものとさせていた。

猪名川支部は、規模的にはさほど大きくはないものの、今後、団塊世代のリタイアといった社会状況のもと、こうした校友のひとつの受け皿的役割を担うことが出来ればと思っている。

(南 隆志) 072-768-0853 (大西経二)

近隣支部との交流に成果 親睦を深めた「納会」

川西支部(井上能一支部長)は、12月22日に市内の料亭「う越秀本店」で44人参加のもと納



会を行った。

数日來の厳しい寒さもものとせず関大オールドボーイ、ガールは息を弾ませ会場に集った。川西支部には5つの同好会があり、夏の「夕涼み会」、年末の「納会」は各同好会が輪番で幹事役を受け持ち、今回は「史跡探訪の会」が担当した。

同会の本田哲也氏(42工)の司会で、初参加者の紹介があり、井上支部長(40法)からは1年の支部活動を振り返り、特に近隣支部との同好会活動において素晴らしい交流ができた、との報告があった。

宴会に入り、乾杯のお頭を山本雅男参与(29商)にとつていただき、鍋をつつきながら酔いに身を任せ、しばし団欒。ゴルフ・釣り・歩こう・史跡探訪・ヤングの5同好会による年次報

告、明年の行事予定の報告があった。

恒例の逍遙歌を声高らかに歌い上げて宴を開めたが、宴会後は二次会に希望者で繰り出し、寒空に散っていった。どこまでも元氣な元・関大生であった。

(日井 宏・昭45文)
(荒木敏雄) 072-758-1787

冬の元氣まつりで古本市 オリンピック招致署名も

2月10日、NPO法人いたみタウンセンター主催による「第12回いたみわっしょい&冬の元



氣まつり」が伊丹中心市街地活性化の一環として開催された。当日は好天に恵まれ、多くの市民参加のもと、盛大なうちに終

予想を上回る70人参加！ 寄席を通じて新しい交流

宝塚支部(門田安正支部長)主催第3回葦水寄席が2月17日、文化会OB会「葦文会」の協力のもとに宝塚商工会議所会議室で開催された。本事業は、支部会員のみなならず、市民への参加を呼びかけようと、宝塚市、宝塚市教育委員会、宝塚商工会議所、阪急電車や地元ミニミニ紙等の協力、そして芦屋支部をはじめ近隣支部の協力も得て実施した。

市外や宝塚市民の参加も多く、予想を大きく上回る70人もの参加者があった。

終了後の出演者との交流会では、今年、関西大学への入学が決まった宝塚市在住の3子息の母親も参加していただくなど、多くの参加があり、寄席を通じての地域活動や、新しい会員と交流を行うなど非常に成果があった。

(塚本寿一) 0797-85-1491

(副支部長 三坂友章)



始した。

伊丹支部(加藤拓支部長)も「三軒寺広場」にブースを確保し、ブースの前には「関西大学校友会伊丹支部」の紫紺の幟旗を立て、支部会員が持ち寄った数々のバザーの品物をフリーマーケットとして開設し、これに加えて会員の自宅に読破され、眠っている多量の古本を持ち寄り、内容の多角化を図った。

更に、今年は2020年、オリンピック開催都市が確定されるということもあって、是非とも東京への招致を期待しつつ、署名活動にも積極的に取り組んだ。とりわけ伊丹出身の柔道女子78kg超級の杉本美香さんが、先のロンドンオリンピックで銀メダルを獲得、父君が伊丹支部の杉本啓次氏(53法)とあって、支部の熱の入れようは半端ではなかった。当日、415人の方々から署名を頂戴した。

ブース内では、品物が良くて安いという定評があり、毎年多くの常連客が訪れ、今年も予想に違わず午前10時開店を待ち切れない様子だった。昼前には品物がなくなるといふことから、今回は古本も含めるなどの工夫の成果もあり、閉店も午後4時過ぎ、売上高も好成績であった。古本は550冊を販売した。(広報部長 古屋敷達夫)



尽きない女子会トーク オ・ジラソーレで開催

15507

1月6日、第3回芦屋支部(直林法廣支部長)女子会がJR芦屋近くのオステリア、オ・ジラソーレで開催された。前回から引き続きのメンバーである6人全員が参加できることを目標に日程を調整し、新春早々のすがすがしい日に開催となった。南イタリアの空気を運んでくれるような素材感溢れるお食事をいただきながら、翌月に行われる芦屋支部総会について、そして4月開催予定の芦屋さくらまつりへの出店について、女性ならではの切り口からアイデアを出し合うことから女子会トークが始まり、気づけば婚活、終活の話題やJ系アイドルのコンサートなどの話題まで、話は尽きることがなく、新春から笑いの絶えない晴れやかな気持ちで閉会となった。(浅尾美佳・平10学文)

(依藤健史) 0797-23-7004

着席と立食で活発な交流 新年に校友100人集う

神戸支部(齋藤富雄支部長)新年互礼会が、1月26日に神戸東急インで開催され、昭和20年代から平成24年卒の神戸校友100人近くが参集した。

応援団第88代総務部長・辻本剛健幹事のリードで学歌を斉唱した後、齋藤支部長が挨拶。学歌を力強くリードしてくれた辻本幹事を称賛し、「神戸支部の新年スタートにふさわしい元気をいただいた。こんな時機こそ関大の縁を大切にしましょう」と、この1年の決意を述べた。

神戸市長である矢田立郎顧問(46法)が「これからの日本、元気によって成長する」と挨拶し、乾杯を行い、懇親会に移った。例年、全テーブル着席だったが、「懇親が最大のアトラクション」をテーマに今年は交流を活発にするため前方は着席、後方は立食テーブル形式で試みたところ、多くの校友が後方で各テーブルを横断しながら、今までにない親睦があらわにこちで咲いた。



なお、今回の開催準備は、関大神戸平成倶楽部メンバーが担当した。

25年度の神戸支部の行事として、4月17日(水)親睦ゴルフ大会、6月28日(金)総会・懇親会、1月下旬に新年互礼会を予定している。詳しくは、神戸支部ホームページおよびフェイスブックを、関西大学校友会神戸支部で検索を。

(常任幹事 古屋敷博文)
(事務局メール kusakobe1955@gmail.com、事務局FAX 078-453-2171)

会場内で河内音頭踊る 寺内会長の提案に回答

1月26日臨時代議員会の後、八尾(中尾達夫支部長)・生駒(藤俊弘支部長)両支部が幹事となる河内地区近隣支部新年互礼会が、ホテルアウイナ大阪で開催された。当日は来賓を含め100人が参集した。

藤支部長の開会の辞に続いて、当日、2期目の会長に就任された寺内会長から「河内と言えば河内音頭。何れスプリングフェスティバルで河内音頭の披露を」と提案があった。



榎本正人河内長野支部長の音頭で乾杯。暫し歓談となった。国会召集を2日後に控えた谷畑孝衆院議員と北川一成参院議員も駆け付けて下さった。歓談の続くなか、平野、柏原、河内長野、富田林、羽曳野、東大阪、藤井寺、松原、八尾、生駒、橋本支部の順に各支部の代表者が壇上に上り、支部の近況報告を行った。

また河内若手会のメンバーも壇上に上がり、結成5年目に入り組織も整ったとの事で役員の交代が披露された。壇上で、宮崎文雄前会長へ感謝状が贈呈された。

アトラクションでは、八尾市内で活躍中の「八尾まつり家会」社中による、津軽三味線、大正琴演奏で非常に盛り上がり、会場内から河内音頭をとのりくエーストの声が上がり、番外で演奏することとなった。

八尾支部会員は当日、幹事として受付をする際に持参していた「八尾支部オリジナル法被」で踊りに参加。各支部からも踊りの輪に参加し、各テーブルを縫って踊った。

また、伊丹支部が取り組んでいる「オリンピックを東京で」の署名活動の協力も行い、最後に中尾支部長が閉会の挨拶をして、次回幹事支部は、藤井寺と河内長野であると発表、次年度の再会を約束し散会となった。

(八尾支部長 中尾達夫)
(中尾達夫「072-998-3526」)

大ガス泉北製造所見学 たこ昌の懐石料理堪能

四條畷支部(櫻井孝雄支部長)では、恒例となった秋のバスツアーを10月11日に実施した。参加者21人を乗せたバスは、晴天に恵まれ堺市方面へと出発。まずは、大阪ガス(泉北製造所)の見学となった。広大な工場内をバスで車窓見学。大規模なガスタンク類、マイナス160度の液体を気体に戻す気化器、無臭のガスに臭いを付ける設備を経て各家庭へと送られている。

そのパイプラインの長さは、西は姫路から、北は長浜市、南は海田市まで、地球をほぼ一周半する長さだ。天然ガス発電所も併設され関西電力の送電線でも



供給されている。

自動化された設備は、270人で管理運営されていると聞き驚きの声。工場内に併設されているガス科学館では、エネルギーの有効利用をテーマとした映像参加型展示物を通してエネルギーと地球環境について学習した。

昼食は、たこ昌で、たこ焼き料理で親睦を深めた。午後は堺市役所最上階から市内を展望、ボランティアガイドの案内で、市内の山口家・井上家・堺鉄砲鍛冶屋敷等文化財を見学。最後に堺伝統産業会館でお土産を買って帰路についた。

(副支部長 三木宏)
(櫻井孝雄「072-876-0836」)

守谷先生叙勲受章祝賀会 くつろいだ雰囲気の一宴

交野支部(安原敏夫支部長)

は、2月2日にJR長尾駅前「団欒ダイニングおのおの」で守谷基明名誉教授(支部顧問)の叙勲受章祝賀会を開催した。

安原支部長は、「この度の叙勲おめでとございます。教育・研究に貢献された功績が国からも認められたことを、心からうれしく思い、お祝い申し上げます。瑞宝中綬章受章の祝宴は得難い機会であり、先生を取り囲んでお祝いすることは限りない喜びです」と挨拶。

次いで、守谷先生は、「皆さんが挙げて私の叙勲受章をお祝い下さり、誠にありがたく、お心遣いに厚くお礼申し上げます。今後は、この荣誉に恥じないよう、一層の精進を致す所存でございます」と謝意を述べられた。

仲谷一壽幹事長の乾杯の発声で和気藹々の祝宴が進む中、「学生と校友に感謝」や「大阪商法のあり方とクリエイティブな大阪人」が話題となり、守谷先生から分かりやすい説明を拝聴になった。



して、学生時代に戻ったような気分浸った。

会場は心地よい酔いも加わって、くつろいだ雰囲気祝賀の宴となった。(事務局 奥野和夫)
(安原敏夫「072-892-6714」)

住吉大社で歩射式を見学 第28回親睦バスツアー

28回目を迎えた守口支部(平井治支部長)親睦バスツアーは2月3日、28人が参加し、摂津国一ノ宮である住吉大社へ出かけた。

まずは、神楽殿で正式参拝。その後、神職の案内で国有形登録文化財に指定され、平素は門が閉ざされている神館の庭で行われた弓馬術礼法小笠原教場奉仕の追儺歩射式(ついなほしやしき)を見学した。たまたま守口市の水道事業管理者である砂口勝紀氏が小笠原教場のメンバーであり、この日、歩射式に出られることを知り、観覧することになった。

事前に砂口氏から大社側に声をかけていただいていたので、わざわざ神殿の廻り廊下に椅子席を用意していただき、特別の計らいに一同大感激した。

儀式には、31世宗家も出席。若宗家が厳肅な抜いの儀式である碁目の儀(ひきめのぎ)を行なったあと、古式に則った作法で3



人ずつ2組に分かれて矢を射る歩射式を拝観した。

住吉大社を出て岸和田市内の和食レストランで昼食をしたあと、あいにく交通渋滞に遭い、水間観音参拝を中止。泉佐野漁業協同組合青空市場で新鮮な魚介類の買い物を楽しんだあと、恒例の日帰り入浴をするため犬鳴山温泉の紀泉閣へ。お肌がすべすべになるという重曹天然温泉で疲れを癒し、帰路に着いた。

(副支部長 山本護)
(シノハラ・篠原勝「06-6998-5115」)

新年互礼会に38人参加 守口市の料亭柿右衛門で

守口支部の新年互礼会は、1月25日に守口市駅前の料亭柿右衛門で38人が出席して行われ



た。

篠原勝幹理事長の司会のもと、学歌斉唱が始まり、平井支部長が挨拶。続いて校友市議会議員の澤井良一、服部浩之両氏を代表して澤井議員から挨拶をいただいた。

また、この日初めて支部行事に参加した玉置喜信、中西伸夫両氏からそれぞれ自己紹介をしていただいたあと、城洗造事業部長から当面の事業予定についての報告と参加の呼びかけがあった。

続いて、伊東章前副支部長の発声で高らかに乾杯し、宴に入った。次々と出される料理に舌鼓を打ちながら、アルコールを酌み交わし、あちこちのテーブルで話に花が咲いた。宴たけなわのところ、伊勢重治氏のリードで逍遙歌を斉唱。万歳三唱のあと、山本護副支部長の閉会の

ことばで幕を閉じた。

(副支部長 山本護)

守口岩田会の激励会 支部から11人が参加

校友の阪神タイガース投手・岩田稔選手の応援感謝激励会が12月16日、ホテルアゴーラ大阪守口で守口岩田会が主催して開催された。

この守口岩田会の会長は、校友の喜多洋三元守口市長。副会長は澤井良一市会議員が務められている。その縁から守口支部にも参加のお誘いがあり、この日は11人が参加した。

激励会では、岩田選手が各テーブルを回り、歓談したりサインをしたり、そして写真撮影にも応じてくれた。

岩田選手は、守口市に生まれ育ち、現在も居を構えられている。今後は、守口支部の会員にこの激励会への参加を広く呼びかけていきたいと思っている。

(副支部長 山本護)

但馬牛すき焼きに舌鼓 木本市長ら来賓も多数

茨木支部(別處一支部長)の新春懇親会が1月17日、市内元町の割烹・片桐で開かれ、顧問の木本保平茨木市長はじめ、元科学技術庁長官近江巳記夫氏、坂口康博、小林美智子の2人の茨木市議会議員、そして、

関西大学の池田敏雄、箕田欣治名誉教授ら、総勢37人の参加で大いに盛り上がった。

懇親会では、別處支部長の新年挨拶、木本市長の祝辞の後、近江巳記夫氏の発声で母校の発展と茨木支部の飛躍を誓った乾杯で開宴。片桐名物の最高級但馬牛のすき焼きに舌鼓を打った。久しぶりに会った校友は、座卓を囲んですっかりうちとけ互いにビールを酌み交わし、先輩・後輩の垣根を越えて賑やかな歓談となった。

途中には、最高級「但馬牛」やその他豪華な景品が参加者全員に当たる抽選会で新年から縁起良く幸運をゲットする者もあり、あつという間にお開きの時間となった。

最後に辻口信良氏の見事な口上とリードのもと逍遙歌を合唱し閉会となった。

(幹事長 小西盛人)



ご良縁 成婚率の高さが決め手

手づくり100%のお世話

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしておりません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

1 成婚率の高さ

無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり100%の行き届いたシステム。

2 質の高い会員層

国公立・有名私立大卒が中心。

3 同一アドバイザーによる一貫したお世話

ご入会からご成婚まで、同一のアドバイザーが担当。

4 自社会員のための構成

成婚率の高さの維持とプライバシーの保護のために他社との提携は一切なし。

5 格式あるお見合いパーティー

帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテルでの会員様だけの集い。

6 安心の均一料金システム

どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視の安心料金システム。



お問い合わせセンター [大阪・神戸・京都] 携帯・WEBからも **エムロード 結婚** 検索

0120-4122-46 営業時間 10:00~18:30 定休日 水曜日

●ドクターズコース
●一般コース
●シニアコース 有

資料請求
無料

株式会社 **エムロード** Marriage Road

大阪 大阪市北区茶屋町8-21-3101 (NU茶屋町プラス最上階) 神戸 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F 京都 京都市下京区室町通綾小路 上ル鶏鈴町480 オフィス・ワン四条烏丸6F

(別處) 一〇七二―六三―

6613

今年も勢いあるスタート切る 住吉大社で御祈祷のあと総会

年間行事の多い住吉支部(小林洋司支部長)。新年のスタートは、住吉さんから。来賓に寺内校友会長、田中大阪支部連合会長、伊藤事業部長、中瀬章文会会長、近隣支部長などをお迎えして総勢36人。

御祈祷、総会、グリーククラブのミニコンサートと和やかに。続く懇親会の余興は、小林支部長の歌と住吉のマドンナによる日舞で始まり、寺内会長の「青春時代」、伊藤事業部長とマドンナ、堀田さん父娘のデュエットと盛り上がり、また、平成組も増加。今年も楽しく勢いのあるスタートを切った。

新卒から大先輩まで楽しめる行事を計画中。まずはスプリング

グフェスティバルでの大テント行事。ご利益いっぱい住吉さんのどら焼きも販売予定。是非大きな福を持って帰って下さい。住吉にとどまらず多くの校友と懇親を深めよう!大テントで皆さんをお待ちしています。

(広報 友成純子)
(小林洋司) 06―6673―9063

新春早々に伊勢神宮へ 様々な思い胸に参拝

1月5日に西淀川支部(沢勲支部長)は、西山幹事長の発案で伊勢神宮参拝を行った。梅田に集合し、沢支部長の神宮についてのレクチャーを頂き、嬉々としてバスに乗り込む面々は、皆にこやかな表情。

午前11時に外宮に到着、参拝を済ませ内宮へ。宇治橋から望



む日の丸に陽光も暖かく、天照坐皇大神の息吹をそこかしこに感じ、様々な思いを胸に参拝した。

その後、おはらい町からおかげ横丁と買い物を楽しみ、帰途の道中も話が尽きる事はなかった。(副幹事長 河野賢治)
(西山正明) 06―6474―8587

支部の年間行事を報告 高野副支部長がスピーチ

鶴見支部(迫匡支部長)では、1月23日に新年会を鶴見区「ふつふや」で持った。今年一年の主な行事の連絡事項は次の通り。

今年一年は支部交流会を定例化し、奇数月の第3木曜日午後6時半から「ふつふや」で会費6000円で開催。ただし、初参加の方や女性校友は大幅な割引価格とする。マイスピーチも実施する。

4月7日のスプリング・フェスティバルは、今年も鶴見支部で朝10時からビンゴゲームやのど自慢大会など、お遊び中心で開催。ファミリィでの参加を。6月22日(土)午後6時から、天満橋の錦城閣で鶴見・都島支部の2支部合同総会を開催。

9月16日(月曜・祝日)、ファミリィ・ハイキング、信貴山のどか村。雨天なら9月23日

(月曜・祝日)に。集合は午前9時30分から10時、のどか村大駐車場に直接集合。バギーの赤ちゃんから参加OK。

連絡・報告後は、2回目のマイスピーチ。今回は高野武文副支部長(34法卒・総合物流業(株)陽光代表取締役社長)。

関大卒業後、時代は就職難の中、大手時計メーカーを経て、難関34倍の大阪府警へ。父親が重病で退職せざるを得なくなり、自宅を担保に借金して運輸会社を設立。それが発展して現在の陽光となった。私はどこに置かれても積極的に道を切り開いていくことを人生で学んだ」とスピーチ。感動の内に拍手で終了した。

おいしい食事と楽しい話題で盛り上がった後は、恒例のおかしなビンゴゲーム。努力家で苦労人の高野氏が当夜得たビンゴの景品は、大根一本だった。

(幹事長 南畑吉是)



(迫匡) 06―6961―7363

多くの若手が初参加 ちゃんこ鍋囲み歓談

大阪中央支部(伊藤晃充支部長)では、11月28日に北区の「ちゃんこ料理志可 堂島店」で若手会忘年会を開催した。

多忙な時期にもかかわらず22人が参加。お馴染みの役員の他にも卒業年次の浅い20歳代・30歳代の若手で且つ初参加者も多く、台湾出身の元外国人留学生も出席してくれた。

宴会では、役員と若手の初参加者など双方が、温かいちゃんこ鍋を食しながら大いに交流し歓談した。

大阪締めでお開きとなった後は、2次会に新地に繰り出すものも多かった。

(広報部 岡田恭典)
(伊藤晃充) 0743―71―2285



進藤副支部長叙勲受章 支部として祝賀会催す

大阪中央支部では、毎年節分の頃に新年役員会を開催しているが、昨年副支部長の進藤輝夫氏が瑞宝双光章を受章されたので、2月2日にリーガロイヤルホテルでの役員会のあと、ささやかではあったが支部としての祝賀会を開催した。

伊藤支部長の挨拶のあと、大谷校友会副会長からご祝辞を頂き、田中大阪市内支部連合会長の乾杯の音頭で祝宴につづり、当支部名物のマジックショー等で大いに盛り上がった。

進藤氏の謝辞のあと、数内副支部長の音頭で、大阪締め、さらに全員が肩を組んでの逍遙歌の大合唱。記念撮影と進み、進藤氏と支部長が立礼にて皆さんをお見送りし、お開きとなった。なお、当日の写真をアルバムにアップしていますので、ご覧ください。（広報部 矢野 茂）
<https://picasaweb.google.com/kwandai/20130202#>



小説すばる新人賞受賞 安田衣央さんの話聞く

北支部（福田平司支部長）の新年会が、1月29日、がんこ阪急東通り店で24人の出席で行われた。

福田支部長は「関西大学の老、壮、青のパワーを集めて、元気な大阪、元気な関西大学にしていこう。大阪の表玄関、北から始めよう」と挨拶をされた。

近藤亮介幹事（平12総情、アメフト部OB）の司会のもと、各自の自己紹介などが行われた。

今回のゲストは、法学部卒の作家であり、現役の司法書士でもある安田衣央さんで、第23回小説すばる新人賞を受賞した『たぶらかし』についてお話ししていただいた。

なお、25年度北支部総会は、6月21日（金）、ガーデンシティクラブ大阪にて開催される。皆さまのご参加をお待ちしています。（幹事長 市田利夫）（市田利夫司法書士事務所 06-6375-1336）

鶴見・都島支部合同で 総会やぶどう狩り企画

2月2日、都島かこの屋で都島支部（香西安勝支部長）新年交流会を催した。最初に、25年度総会について

打ち合わせを行い、日時会場について、6月22日（土）午後6時、天満橋キャッスルホテル錦城閣において鶴見支部と合同開催と決まった。

交流会は都島支部5人、鶴見支部4人の9人出席のもと、飲み放題食べ放題の豚しゃぶを楽しみながら支部活動について、どうすれば会員にメリットがあり、支部の発展につながるかを話し合った。

本年は、鶴見支部の提案により、鶴見・都島両支部合同で、信貴山のどか村に行つて自然に親しみ、ぶどう狩りなどを楽しもうと言つことになった。

交流会の締めとして鶴見支部恒例のビンゴゲームがあり、洗剤・リンス・コーヒーマシン・コーラ・ご飯等のお土産を手に散会した。（幹事長 北本浩三）（香西安勝 06-6922-4862）



生根神社で御抜い受け かこの屋で大いに歓談

1月13日に西成支部（吉村健治支部長）の新年互礼会が開催された。午後3時半、生根神社にて恒例の御抜いを受けた後、5時から「かこの屋」で飲み放題の食事を楽しみながら歓談し盛り上がった。なお、参加者は27人だった。（花岡 宏）（吉村健治 06-6661-5

新規入会者も打ち解けて笑顔 結束固め職域会の意義を確認

11月2日、尼崎市役所秀麗会（森山敏夫会長）の総会・懇親会を、市内の居酒屋を会場に開催した。

儀礼的な進め方を見直し、本当に会員相互が親睦と交流を図られるようにして4年目の開催となったが、回を重ねるごとに盛り上がりを見せ、笑顔あふれる総会となった。まさに膝を付き合わせる距離感のなかで、新規入会者（24年度採用者）もすぐに打ち解けるなど、年代や職場を超えて、結束を固める機会となった。（統括幹事 富奥真二）（尼崎市役所健康福祉局福祉課・富奥真二 06-6489-6348）



八尾支部から3人出席 若い校友の活躍目立つ

2月6日に八尾市役所開大会（小山登会長）の臨時総会が、大阪・ミナミの道頓堀ホテルで開催された。八尾支部から中尾達夫支部長と角倉章副支部長、長野昌海会計監事の2人が八尾市有功者として出席した。また、田中誠太市長、市会議員の越智妙子校友も出席された。



学歌斉唱で開会。小山会長の挨拶の後、来賓紹介があり、代表して田中市長、有功者の角倉氏、中尾支部長の3人が祝辞を述べた。議案も規約改正に関する1件で、既に役員会で承認済みであり、総会での承認議決といった、まさに行政のプロの手際の良さであった。

八尾市有功者・長野氏の音頭で乾杯し、懇親会に移った。八尾市長もカラオケで十八番を披露。開大会の若い校友も頑張つて会を盛り上げていた。

(八尾支部長 中尾達夫)
(八尾市役所こども未来部・小山登「072-924-3988」)

提案営業する努力必要 大阪の都市戦略も聞く

物流開大会(福田泰久会長)は、1月26日に26人が参加し、ホテルプラザオーサカで研修会及び新年懇談会を行った。



福田会長から「トヨタが再度世界一の座を取り戻し、景気が回復する。物流業界にとつての円安は燃料価格の高騰などマイナス要素が多い。消費税UPから先が読めないが、客先に提案営業していく努力が必要」との話を聞き、その後、講師の堤勇二大阪府副理事(昭54学法)からは、緑化をテーマに変化する大阪の過去と未来におけるグラウンドデザインについて、大阪府の発行冊子等を用いて、興味溢れる講演をいただいた。

その後、昨年新たに創設したグルメ部・ゴルフ部・視察旅行部の各部長から連絡事項があり、グルメ部の佐野部長からメーリングリストの作成、ゴルフ部の藤原部長から5月の土曜日に第1回の開催報告、視察旅行部の谷部長からは10月にシンガポール等の物流施設見学の報告を得た。

懇談会では、遠くから駆けつけた校友の紹介や懇談で大いに盛り上がり、2次会もほぼ全員が参加した。

物流開大会は人会金・年会費不要で、参加者による会費のみで運営しているのが、広義の物流事業に携わる校友からの信頼できる親交・商談の場として今後も大いに入会を歓迎している。

(幹事長 栗尾尚孝)
(大和運送・栗尾尚孝「072-626-7235」)

昨年度9人増29人合格 学校との共催で祝賀会

24年度の公認会計士試験の合格発表が、11月12日に公認会計士・監査審査会より発表され、それを受けて関西大学と公認会計士開大会(山田拓幸会長)との共催による公認会計士試験合格祝賀会が、12月15日に大阪新阪急ホテルで開催された。

本学からは昨年度に比べ9人増加の29人が合格したことが判明している。合格者の内訳は、会計専門職大学院9人、商学部9人、法学部3人、文学部3人、経済学部2人、工学部2人、社会学部1人で、この内8人は女性だった。

祝賀会には、合格者15人をはじめ大学関係者31人、校友会3人、公認会計士開大会22人が出席した。富田研究科長と山田会長の開会の挨拶で開会し、池内理事長と林副学長から祝辞を頂



戴した後に、寺内校友会長から祝辞と乾杯の発声を戴き、その後は、林公認会計士開大会副会長の司会のもとで、合格者の紹介・記念品の贈呈・合格者による今後の抱負の発表と終始和やかに進んだ。

新試験移行後では、昨年度に次ぐ過去2番目の低い合格率であり、そのような状況の中で合格者が増加したことは極めて喜ばしく、母校関西大学と公認会計士開大会にとって荣誉ある出来事であった。

(山田公認会計士事務所「06-6605-8101」)

新入会5人に記念品贈呈 新年会・合格祝賀会開催

1月19日、天満橋の大阪キヤッスルホテルで社会保険労務士開大会(田中義久会長)の25年新年会及び合格祝賀会が開催された。

校友会の寺内会長らを来賓に



迎え、総勢45人参加のもと、賑やかに新年のお酒の杯を酌み交わしながら、会員相互の懇親が深められた。

また、平成24年度試験に見事合格された新入会員5人の参加があり、校友会からの合格記念品贈呈の後、それぞれ自己紹介をして抱負を語っていた。

(高田綾子)

新年会に参加して

今回、社労士開大会の新年会に参加させていただき、社労士の先輩方、たくさんの学友の皆さんと楽しい時間を過ごした。

社労士という労働分野の専門家の資格を取得したときに、周りに同窓の仲間が沢山いることがわかり、非常に心強く感じた。久しぶりに大学の歌を輪になつて肩を組んで歌っている瞬間、気分は青春時代にタイムスリッ

ブした。次回は、応援歌や関大
マグマも合唱したいです！

今回、この素敵なチャンスい
ただいたことを感謝し、微力な
がら私も母校に何かできたら
と感じている。（出口 隆）

（山中国社会保険労務士事務所・
山中正利〓06-4793-0
068）

急増の下請法違反を勉強 6土業若手40人が出席

弁護士、公認会計士、司法書
士、税理士、社会保険労務士、
不動産鑑定士の6土業の若手校
友による異業種交流勉強会であ
る関土会は、各土業が持ち回り
でテーマを決めて定期的に行っ
ているが、第26回となる今回は
関大法曹会が担当し、井口喜久
治弁護士（61法）を講師に迎え
て、近時急増している下請法
（正式名称は下請代金支払遅延
等防止法）違反事件に関する勉
強会を、1月24日に大阪キャッ
スルホテルで約40人が出席して
開催した。

下請法では、資本金が一定以
上の金額の親事業者が下請事業
者に対して予め定めた下請け代
金の減額を要求したり、注文し
た物の受領を拒否したりするこ
となどを禁止しており、違反す
れば公正取引委員会からは正や
再発防止の行政指導を受けると
されているので、これを中小企



業の立場に立つて、どのように
活用していけるのかといった興
味深い内容の講演だった。

講演後の質疑応答では、下請
法の適用を免れるために親事業
者が減資した場合はどうなるの
かといった非常に突っ込んだ質
問に、持ち帰って研究したいと
講師が回答するなど、熱のこも
った議論のやりとりが行われた。
その後、会場を移して懇親会。
今回は初めての参加者も多く、
それぞれの仕事での経験談や現
在進行形の問題などで歓談し、
盛会裡に散会した。

今回の勉強会は、司法書士関
大会の担当で4月18日（木）午
後6時半から大阪キャッスルホ
テルで開催する。（長屋 興）

忘れるよ、歳なんて カラオケで青春を謳歌

新春だね、忘れるよ、歳なん
て、学生時代を振り向こうっ……そ
して母校の奮起、強い関大の一
端でも、担おう……来年は卒業後
60年、巣立つて還暦、まだまだ



これから……

1月25日、メンバー20人、天
満橋・大阪キャッスルホテルに
おいて、夕闇せまる淀川を背に
二九千里会（高橋一夫会長）新
年会を開催した。

高橋会長から、「元気で健康
が第一。今年1年あらゆる行事
には、是非参加してほしい。そ
のためには色々な計画を模索し
ていく」旨の挨拶があった。

ホテルの設営によるカラオケ
で精一杯、青春を謳歌し、時間
の経つのも忘れるありさまであ
った。（河合義雄）

（高橋一夫〓0797-86-8
618）

全員が土産品をゲット 恒例の新年懇親会開催

社会学部同窓会（横山豊会
長）は、1月20日に新大阪ホテ
ルで新年懇親会を開催した。来
賓に小川社会学部長をお迎え



し、顧問の東村教授をはじめ17
人が参加した。

学歌斉唱を皮切りに、小川社
会学部長や東村教授の挨拶で関
大の現況等を拝聴し、各同窓生
が認識を新たにした。そして、
土橋監事の発声で乾杯し、会食
が始まった。

参加者は、自分自身の現況等
を発表するなど歓談を通じ旧交
を温め、恒例の抽選会で全員が
土産品をゲットし、閉会となっ
た。

新規会員の入会を積極的に推
進しており、随時受付している。
詳細は事務局までお問い合わせ
下さい。（会長 横山 豊）
（事務局・横山豊〓0900-2
288-1076）

逸翁美術館などを探訪 名物「かき峰」で食事

池田市は、文化の日を「IK



EDA文化DAY」と名づけ、
同市にある逸翁美術館をはじめ
め、文化施設を一斉無料開放し
ている。

天六同友会（水上義博会長）
では、松永幹事長のナビゲート
により一行33人が、秋晴れのさ
わやかなこの日、池田の文化探
訪を試み、知的栄養を詰め込ん
だところで、これまた池田名物
の牡蠣料理店「かき峰」では
しりの牡蠣をこれまた存分に詰
め込み、豊かな時をすごした。

小林一三翁は、この地に初め
て阪急の電車を走らせ、そこに
住んだ。なんとなくそれが分か
ったような気分です、お土産の牡
蠣飯とインスタントラーメン発
明記念館のお土産ラーメンセッ
トを手にも機嫌で各々帰路につ
いた。（佐竹正康）
（水上義博〓072-635-
2147）

多くの人に希望や笑顔を
文化会の活動見に来て！

2月4日、大阪マルビル・豆
助で文化会OB会章文会（中瀬
和夫会長）の役員・幹事と現役
文化会本部役員（新旧）とで交
流会を開催した。

交流会では、文化会の活動を
多くの人に知っていただきたい。
そして、見に来ていただきたい。
また、震災後、文化活動（落
語、奇術等）を行うことによっ
て、多くの人に希望や笑顔を与
えることができたのではないか
といった話が出た。

現在、現役文化会は、フェイ
スブックを開設し、公演等のイ
ベント情報を発信している。皆
さん、是非現役の活動を見に来
てください。

<https://www.facebook.com/kubunkakai?ref=ts>

（幹事長 三坂友章）
（三坂友章＝090－5158
－7259）



南部梅林梅まつりへ
紀州の旅で交流深まる

女子秀麗会（仁井ひろみ会長）

は、2月10日、第12回楽塾「南
部梅林梅まつりツアー」を実施。
早朝7時過ぎに梅田に集合。
晴天青空のもと和歌山南部（み
なべ）の里へ向け、39人の参加
者を乗せたバスは出発した。

南部梅林は、「一目百万、香
り十里」と称され、日本一の規
模を誇る。園内の広大な遊歩道
を巡り、一面を彩る凜とした梅
の花を愛で、梅干や梅酒の試
食・試飲会など、一足早い春を
満喫した。

昼食は、ベイホテル朝日様に
て、新鮮な海の幸をふんだんに
使った料理を味わった。

食後、「安珍、清姫」悲恋物
語の舞台になった道成寺を参拝
し、宝物館で国宝の仏像も拝観
した。

帰路、黒潮市場で海産物や地



元の果物など、お土産選びに夢
中になり、心配した渋滞もなく
予定より早く梅田に到着。

視・味・嗅・触覚をフルに活
用させた楽しい紀州の旅は会員
や会員家族等の交流をより深
め、次回を楽しみに解散した。

（事業部幹事 児玉美知子・平15文）
（仁井ひろみ＝06－6925－
1821）

発足以来101回迎える
定例会等多種多彩な催し

関大一高ロッキークラブは、
平成16年8月発足、25年1月
で101回の開催を迎えた。

一高を昭和29年卒業の6期生
で、一中一高関大卒業の同期中
心で構成されており、会員がそ
れぞれ学んできた豊富な尊い人
生経験を互いに披露し、有意義
な今後の人生に生かすための学
習の場ともなっている。



クラブの運営については、毎

月の最終土曜日に定例会を開
催。時の人や校友に関する著名
な方を招待し、知識の高揚を図
ったり、社会見学として国会議
事堂をはじめ、高名な美術館や
有名な蔵元等の見学をし見識を
深める一方、海外旅行では力ナ
ダ旅行や国内の関大山荘巡り
等、多種多彩な幅広い活動を行
っている。

毎月の定例会の後には、親睦会
で銘酒を酌み交わしながら、身
近かな互いの現況を披露して、
次回も元気に再会を誓ってハッ
ピーエンドで散会している。

（幹事 桃原正彦）

45年間使用の弓道場
閉場に名残り惜しむ

12月15日、ついに惜別の時と
なった。45年の長きにわたり、
単に練習の場としてだけではな
く、心のよりどころであった弓
道場閉場の日である。かねてよ
り念願であった新道場が、25年
夏には落成される運びとなった
のである。

当日、心配された雨も朝のう
ちにあがり、弓陵会OB・OG・
現役部員の見守る中、井上
顧問先生に参加をいただき、別
れの儀式が厳かに始まった。敬
愛する故森川師範ゆかりの脇差
しを身につけた坂根師範の凜と
した巻藁射礼に続き、現役主将



の矢渡し、田中（OB会）会長
の気迫のこもった納射など弓道
の神髄をかみしめる感慨深い閉
場式であった。

その後の記念射会では、最後
の機会とあって多くのOB・OG
諸氏がチーム戦を楽しみ、学
生時代一番長い時を過ごした弓
道場に名残を惜しんだのである。

同日、24年度総会および懇親
会も開催され、新道場の予想図
の紹介に、新生弓道部のさらな
る活躍を強く願う総会であった。
懇親会では現役生も和やかにOB・OGとの歓談に交じり、創
部60年の弓道部の長き歴史を感
じ取っていたことだろう。

来る25年夏には60周年および

新道場完成にあわせ盛大なる式典を予定し、多くの卒業生が新道場に集うことを期待し、長い一日に幕を閉じた。

(司会副会長)

栗尾宣行・53学商)

東京支部発足パーティー 支部長に中村氏が就任

漕艇部OB会である漕艇部紫紺会は、予てより東京での活動を目指していたが、このほど東京支部が発足した。支部長には36年法学部卒業の中村淳二が就任した。

2月2日に東京・日本橋で在京のOBの内約3割の方々が参加し、賑々しく発足パーティーが開催された。
当支部の活動方針として、次の3項目を掲げて活動していくことになった。



現役の支援―現役時代にお世話になった漕艇部への恩返し、OB同士の懇親―OB同士のコミュニケーションの場を提供する、異業種交流の場―色々な業種・職種で活躍しているOBの方々に情報交換・人脈形成の場を提供し、お互いの知識・能力の向上並びにビジネス



初のゴルフコンペを開催 関係者の努力もあり実現

第1回首都圏支部連合会(得平文雄会長)ゴルフコンペを10月18日、本千葉カントリークラブ(千葉市)で首都圏4支部(東京、神奈川、千葉、埼玉)5組19人の参加で開催した。

当日は、秋のアベック台風21、22号が連続で伊豆諸島沖を抜け去った最中であつたが、幸いにして数ホールのみ雨に降られたが無事プレーを楽しむ事ができた。このコンペ開催は、何年も前から連合会及び各支部から提案のあつた企画であつたが、ようやく今回関係者の努力もあり実現したもの。

競技は支部対抗戦、個人戦のダブル競技で行い、対抗戦は、優勝神奈川支部Bチーム、2位千葉、3位埼玉、4位神奈川A、5位東京とおのの僅差の

向上を目指す。

さらに、漕艇部現役やOBとの交流はのみならず、東京・神奈川・千葉・埼玉在住の校友の皆さん並びに体育会・文化会OBの方々との交流も視野に入れながら活動していくことにしている。

(中村淳二)

スコアでの順位であつた。

個人戦は、優勝金田治氏(千葉、45工)、2位若崎保志氏(神奈川、53法)、3位畑修氏(神奈川、45工)、B G清水孝弘氏(グロス77 東京、54工)に輝いた。

表彰式を兼ねた懇親会では、4支部長代表出場の重延神奈川支部長から優勝カップ(関東首都圏支部連合会杯)がチーム代



表に、4人に副賞が贈られた。個人戦は順位賞等とニアピン、ドラコン賞を加えて各賞が贈られた。

表彰式後、今後の進め方について協議し、近隣県各支部の参加も促し輪を広げる等の活発な意見が出されて方向性も決まり、来年の再会を誓い散会した。

(第1回関東首都圏支部連合会)

ゴルフコンペ世話役 藤本國士)

精鋭13人で団体戦制覇 初の5大学親睦ゴルフ

茨木支部(別處一支部長)では、11月20日に亀岡市の関西カントリークラブで開催された第1回関大・関学・同志社・立命館・龍谷5大学親睦ゴルフ会に参加、堂々団体優勝を飾った。

元々この親睦ゴルフ会は、平成9年に産声を挙げた「ゴルフ関関戦」がスタート。今回漸く立命館の参加が実現し、記念すべき5大学での第1回大会を迎えることができた。

当日は、5大学の43人が参加、天候もまずまずのゴルフ日和に恵まれ、午前9時アウト・インに分かれてスタート。熱戦の火蓋が切られた。

競技は、団体戦と個人戦の2本立て。団体戦は各チーム上位5人のネットスコアの合計で順



位決定。13人の精鋭で参戦した関大・同志社両校の争いかと思われたところ、僅か6人の参加者に止まった関学チームが健闘。優勝関大、2位関学、3位同大の結果となつたが、3位までのストローク差が僅か1・8!、次回の対決が楽しみとなつた。

個人戦は一転関学の独壇場。優勝・3位を獲得。特に優勝の梅井氏は、40人以上の参加者を数える本大会で昨年に引き続きの連覇には敬服!

また、初参加の立命館も、団体戦は参加者が少なかったこともあり不調だったが、個人戦では本大会参加に尽力いただいた幹事の梶氏が準優勝に輝かれたのはお見事だった。

(ゴルフ幹事 齊藤勝幹)
(別處一) 072-634-6613

「忘れまい」

あの日のこと
大阪大空襲の記録に

発行 松本工房
定価 1800円+税



同期の和田澄子さんが、80歳で昨年9月に3冊目の戯曲集を出版した。

和田さんは、関大2部の演劇部「学窓座」に入部して演劇の道を志し、卒業後「何かを表現してみたい」と手探りで劇作を始められ、昭和32年に29歳で「川向こう」を発表。その後、劇団「未来」の創立に参加され、第1回公演「差別」も和田さんの作品である。以後、座付き作家として50年

間に22本の創作劇を書き、劇団「未来」で全作品が上演されている。

本書には、平成17年にドラマコレクションとを出版した作品の中で、平成24年（2012年）12月に再演後に改稿した大阪大空襲を記録した「わが街・大阪ひがし」と「西瓜と風鈴」六十一一年目の夏」「カキケコ ケコケコの長短3作品を収録。

読めば、第二次世界大戦の大阪大空襲で大阪の庶民が体験したあの惨劇に対する痛恨の思いを、記録として残しておかねばならないという著者の強い意志がひしひしと伝わってきて、深い感動を覚えた。

なお、和田さんの「ドラマコレクション」については、学部29年卒生の卒業50周年記念誌「わが青春の輝かしき日々」に、同期の牟田口誠君が紹介文を寄稿している。

(昭29学法 平川勝士)

仲井 徳（昭42学文・46学2法）著

ほん(本)の
いろいろ

— 関西大学図書館拾遺春秋 —

発売	ユニウス
頒価	2730円



著者は、昭和42年以来33年間にわたり母校図書館に奉職し、その間、阪神地区で運営されていた書誌学研究会に参加して書誌学を研究して今日に至っている。そして現在、神戸女子大学の専任教員として、また地元の川西市では図書館協議会の会長として活躍中である。

本書は、関大生協が発行する『書評』誌に大学図書館の蔵書を逐次紹介したもの計85点を中心に、これらを8つのテーマに区分し、これを書誌学的に論じたものである。

従つて、本書の構成は、第1章資料（絵入本・書誌・装訂史・書目・図書館資料・その他の本）、第2章地誌、第3章古活字版と近世活字本、第4章古典、第5章電子書籍、第6章科学、第7章人物、第8章諸分野の以上8章に区分し、著者の得意とする書誌学を縦横に開陳したのが本書の眼目とするところである。

但し、これらの作業には終着点がない。終生の大作業として、著者には後進の育成のために一層頑張って頂きた

（藤井 収）

なお、本書は、関大生協
『本のいろいろ』係まで申し込
めば、税・送料込みで260
0円の特価で購入することが
できる。(電話06—6368
—7527、FAX06—63
68—7555)

松村敏彦（昭46M文）著
「ジョウゼフ・コンラッド」

比較文学的研究と
作品研究上

大阪教育図書 刊
定価 3700 円 + 税



本書は『流浪の作家ジヨウゼフ・コンラッド―その思想形成の遠景と近景―』（2000）、『新編 流浪の作家ジヨウゼフ・コンラッド』（2007）に続く松村敏彦氏の3冊目の著書である。

コンラッドは1857年に
ポーランドに生まれ、幼時に
両親を亡くした後、海にあこ
がれて船員となった。187
8年にはイギリス船に乗り込
むが、この際に英国的なるも

のに強い親しみと憧憬を覚え、英語を習得することになる。そして世界各地を航海した後、1886年に英国に帰化し、作家となつて英語で小説を書いた。そうした彼の人生を反映して、海や異国がしばしばこの作家の小説の舞台となっている。

松村氏によれば『コンラッドの、特に『闇の奥』のような作品は「ヨーロッパ中心主義の価値観と日常的信仰を根底から揺さぶる」ものであり、「西洋世界の基本的な視点の転換」を迫るものである。こうした観点を踏まえ、地球温暖化のような「環境問題と過去の先進文明から学び吸収して形成された日本の多文化共存思想」について論じたのが第一部「比較文学研究」に収められた「宮崎アニメとコンラッド文学」である。第一部には『闇の奥』や『ロード・ジム』のような「コンラッド作品の村上春樹への影響関係を論じた」「村上春樹とジョウゼフ・コンラッド文学」なども収められていて実に興味深い。第二部「作品研究」には3篇の作品論が収められているが、長年のコンラッド研究を経た深みをそれぞれの論考に感じるべきだろう。

(文学部教授 谷口義朗)

日笠 優著
ゼノンコミックス

「カナヤゴ」

発売 徳間書店

定価 590円(税込)



河内國平さん(昭41学法)から突然コミック本を手渡され、書評の依頼を受けました。マンガの表紙1面には、可愛い少女の笑顔が描かれ、タイトルは「カナヤゴ」とあります。作者名の日笠優さんは初めて名前を聞く人です。河内さんに伺いますと、「高校卒業後の進路に悩んだ少女が、1振りの刀との出会いから、古典文化の伝承者ともいえる刀匠を目指すストーリー」だそうです。河内さんの鍛刀場が参考舞台となっています。

月刊コミックゼノンに連載中で、単行本としては第1集です。戸惑いながらページをパラパラ繰っていくと、「ん」とまず目がとまったのは、作業場である鍛刀場が良く画かれています。確かに河内さんの鍛刀場の緊張感が伝わっていました。さらに刀剣が描か

れています。これも「真剣」の鋭さがでている「切っ先」や「波紋」と、いずれも鈍いあの色使いが見事です。あとで河内さんの奥様に尋ねましたが「主人公が、ここは...とかそこは...と、下絵を観て言っていました」とのこと。合点がきました。

また、ストーリーで面白かったことは、刀剣とその所有者との性格が関連しているとの心理面からの分析です。これまでの一般概念を覆すかのような発想には感心してしまいました。タイトルの「カナヤゴ」を調べてみますと、島根県安来市の、古代から「たたら製鉄」の神として崇められてきた「金屋子(かなやこ)神社」からの拝借のようでした。未だ30歳そこそこの女性の豊かな感性が、そここに伺えるコミックです。久しく手にしなかったマンガでしたが、どの年代の人々にも充分興味をもって読んで頂ける1冊と推薦できます。

そして、このコミック本を通じて、新たに多くの刀剣ファンが生まれることを願っています。(副会長 田中義昭)

校友短信



三重県亀山市長に桜井義之氏が無投票で再選 任期満了により1

月27日に告示された亀山市長選挙で、無所属で現職の桜井義之氏(さくらい・よしゆき)昭61学社会)が無投票で再選を果たした。

桜井氏は、亀山市議を1期、三重県議を4期務め、平成21年1月に亀山市長選に立候補し、初当選していた。49歳。

茨木市議会議員に2校友が当選 1月27日に投票された茨木市議会議員選挙で、次

の2校友が当選を果たした。

安孫子浩子氏(あびこ・ひろこ)昭59学文)無所属現、当選3回。平成20年4月の補欠選挙で初当選。51歳。

小林美智子氏(こばやし・みちこ)平2学文)無所属現、当選3回。平成17年1月初当選。45歳。

大阪弁護士会平成25年度副会長に吉田之計氏が当選 大阪弁護士会の25年度役員選挙が1月18日に告示され、無投票で7人の副会長の一人に吉田之計氏(よしだ・ゆきか)昭53学政・55学2法)が当選した。任期は4月1日から1年間。

お悔み申し上げます

(敬称略)

川上光重(かわかみ・みつしげ)昭32短大2)平成24年3月22日死去。88歳。枚方市。

亀徳正夫(かめとく・まさお)昭61学法、元宝塚市役所勤務)5月11日死去。49歳。神戸市。

日谷哲夫(ひたに・てつお)昭49学工、元神戸市役所勤務)6月11日死去。63歳。西宮市。

木戸脇伸隆(きどわき・のぶたか)昭37学経、トキワ産業代表取締役)7月27日死去。72歳。大阪府。

岡本義男(おかもと・よしお)旧姓田中、昭19専1商、岡本印刷紙業代表取締役社長)8月8日死去。87歳。大阪府。

大浦善雄(おおつら・よしお)昭26学法、元(社)大阪府信用組合協会専務理事)9月2日死去。84歳。名張市。

平井正彦(ひらい・まさひこ)昭19専1商・22大経、あかねや代表者)10月19日死去。88歳。伊丹市。

白井征生(しらい・まさお)昭9専1法)11月23日死去。99歳。箕面市。

中津富士男(なかつ・ふしお)昭38一高・42学工、元日鉱商事勤務)12月2日死去。67歳。豊中市。

佐藤博幸(さとう・ひろゆき)昭57学法、弥満和製作所)12月4日死去。54歳。東京都練馬区。

日山正廣(ひやま・まさひろ)昭23専1商・25学法)12月5日死去。85歳。松山市。

中島 巖(なかしま・いわお)昭28学法、元和歌山エムシーカード取締役社長、河内長野支部相談役・元副支部長)12月16日死去。82歳。河内長野市。

山本勝夫(やまもと・まさお)昭28短大1・30学経、山一土地建物代表取締役社長、高石支部元副支部長、元校友会代議員)12月23日死去。80歳。高石市。

南 鋭一(みなみ・えいち)昭37学法、元阪神内燃機工業勤務)平成25年1月5日死去。73歳。姫路市。

上田充則(うえだ・みつり)昭42学文、大洋眼鏡工業所自営、校友会代議員)1月8日死去。67歳。大阪府。

柳原一善(やなぎはら・かずよし)昭34学法、司法書士・柳原司法書士事務所、元校友会代議員)1月11日死去。76歳。大阪府。

長田義明(ながた・よしあき)昭32学法、元大阪府議会議員・議長、元校友会代議員)1月14日死去。78歳。大阪府。

藤原亀夫(ふじわら・かめお)昭8二商・11専2法・16大法)1月16日死去。99歳。豊後高田市。

川口憲史郎(かわぐち・けんしろう)昭37学法)1月19日死去。74歳。箕面市。

澤山政康(さわやま・まさやす)昭17大予2・21大経、合資会社大阪鉄鋼所会長・元代表社員、尼崎支部参与、元校友会代議員)2月11日死去。90歳。西宮市。

平成24年度

1級建築士 設計製図試験

全国

合格者
占有率

No.1

37都道府県での開講にもかかわらず
全国の合格者の
半数以上が
当学院現役受講生！

全国合格者合計 4,276 名中、
当学院現役受講生 2,211 名

51.7%

他講習
利用者
+
独学者

当学院
現役
受講生

関西大学

平成24年度
1級建築士合格者

卒業
合格者 48名中、28名が
当学院の講座を利用して合格されました！

当学院
利用率

58.3%

※都道府県合格者は、(財)建築技術教育普及センター発表による。＜平成24年12月20日現在＞

平成24年度 2級建築士 設計製図試験

新試験となった2級建築士設計製図試験において、
当学院の「分析力」「対応力」を含めた講習システムの良さが
実績として証明されました!!

当学院現役受講生
合格者数

＜平成24年12月12日現在＞

2,116名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

平成24年度 1級建築施工管理技術検定 学科試験

当学院基準達成
現役受講生 合格率

97.7%

8割出席・8割宿題提出現役受講生256名中、合格者250名
＜平成24年7月20日現在＞

平成24年度 1級建築施工管理技術検定 実地試験

当学院現役受講生
合格者数

956名

＜平成25年2月7日現在＞

企業の将来を担う
若手技術者の育成にご協力いたします。

無料 法人サポートサービス

好評受付中!!
詳しくは最寄校まで

Web学習サービス

●1級・2級建築士(学科) ●宅地建物取引主任者

社員の皆様が、自宅で資格取得に向けて学習
に取り組むためのWeb学習サービスを提供
します。多忙な業務のなか、自主的にストレス
なく取り組むことができるサービスです。

模擬試験・社内講習会

●1級・2級建築士(学科・製図) ●宅地建物取引主任者 ●1級・2級建築施工管理技術士(学科・実地)

当学院オリジナルの模擬試験により、社員の
学習レベルを診断。さらに社内講習会により、
試験対策指導を行います。

各種合格ガイダンス

●1級・2級建築士(学科・製図) ●宅地建物取引主任者 ●1級・2級建築施工管理技術士(学科・実地)

1級・2級建築士、宅建、1級建築施工管理技
士など、各種資格試験の概要や、最新傾向、学
習方法などをご説明します。

有資格者育成プラン作成

●1日プラン ●年間プラン ●新入社員研修プラン ●内定者学習サポート

それぞれの企業のニーズに合わせた、社員
教育のプランをご提案させていただきます。

無料体験入学
実施中!

1級・2級 建築士

1級・2級
建築施工管理技術士

今すぐウェブ検索

ケータイサイトも充実

1級
土木施工管理技術士

宅地建物取引主任者

インテリア
コーディネーター

総合資格

検索

www.shikaku.co.jp

http://gakuin.jp/

※QRコードはバーコードリーダー
対応機種に限りません。



総合資格学院

株式会社 総合資格
(社)日本経済団体連合会会員
(社)日本建築学会会員
(社)全国産業能力開発団体連合会会員
監理技術者講習実施機関 登録番号 7
宅建登録講習機関 登録番号(3)第009号
宅建登録実務講習実施機関 登録番号(3)第5号

株式会社 総合資格学院法定講習センター
国土交通大臣
登録講習機関 ●一級建築士定期講習 登録番号 第5号
●二級建築士定期講習 登録番号 第4号
●管理建築士講習 登録番号 第2号
経済産業大臣
指定講習機関 ●第一種電気工事士定期講習 登録番号 第4号

梅田校 TEL.06-6374-1411

新大阪校 TEL.06-6101-1911

京橋校 TEL.06-6882-8211

なんば校 TEL.06-6648-5511

堺校 TEL.072-222-9311

神戸校 TEL.078-241-1711

姫路校 TEL.079-224-1411

京都校 TEL.075-352-3011

草津校 TEL.077-566-6911

奈良校 TEL.0742-30-1511

学院長 岸 隆司 (法48卒)

(株)ブライダルは
関西大学校友の皆様の
「結婚」を応援します。



結婚

35年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に関西大学校友の皆様には平成16年より「関大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「関大」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(登録料50%OFF)にてお世話させて頂きます。

関大コース

登録料

50%OFF

ブライダルコース
¥220,500 ▶ ¥204,750 etc.

エクセレントコース
¥378,000 ▶ ¥362,250 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

株式会社ブライダルの詳しい情報はホームページをご覧ください。
詳しくは(株)ブライダルと検索してください。

(株)ブライダル

検索

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

<http://www.bridal-vip.co.jp>

<http://www.bridal-vip.net/m/>

右のQRコードにて携帯サイトにアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)



35年の実績
株式会社

ブライダル

名古屋本社

〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network/東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪